
笠置町 観光入込客動向調査報告書

令和4年度 小規模事業者支援法関連事業

令和4年（2022年）7月



目 次

第Ⅰ章 調査概要	- 2 -
1 - 1. 調査の目的	
1 - 2. 調査方法	
1 - 3. 笠置町の概要	
第Ⅱ章 調査結果	- 4 -
2 - 1. 訪日観光の動向	- 4 -
(1) 世界の観光動向	
(2) 訪日外国人旅行客の動向	
2 - 2. 日本全体の観光の動向	- 7 -
(1) 日本人の海外旅行の動向	
(2) 国内旅行の動向	
2 - 3. 京都観光の動向	- 12 -
(1) 京都府の観光入込客数及び観光消費額	
(2) 京都への観光入込客の実態	
2 - 4. 笠置町における観光の動向	- 15 -
(1) 観光入込客数及び観光消費額	
(2) 笠置町への観光入込客の実態	
2 - 5. 笠置町キャンプ場の利用者数の動向	- 27 -
第Ⅲ章 調査結果を踏まえて	- 29 -
3 - 1. 調査結果のまとめ	
2 - 2. 今後に向けて	

第 I 章 調査概要

1-1. 調査の目的

この調査は、笠置町商工会が、令和4年度「小規模事業者支援法関連事業」において、地域内の小規模事業者等、特に観光産業に携わる事業者が、個々の事業運営においての参考となるよう、観光庁や京都府などが公表している情報をもとに調査・分析したものである。

笠置町の事業者がこの調査の結果から読み取れる市場動向や市場ニーズ等を的確に捉え、「今後の新商品開発」「新市場開拓」「販路開拓」などの積極的な経営課題解決への具体的なヒントを得ることを狙いとしている。

1-2. 調査方法

①調査項目

- ・日本の観光の動向（世界観光、外国人観光、日本人国内外観光）
- ・京都府の観光入込客の動向
- ・京都府内地域別及び笠置町の観光入込客の動向

②調査資料

- ・国土交通省観光庁「観光白書」
- ・京都府商工労働観光部「京都府観光入込客動向調査報告書」
- ・公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」
- ・一般社団法人観光笠置「キャンプ場利用客データ」

1-3. 笠置町の概要

①立地

京都府笠置町は、京都府の最南端の相楽郡東部に位置し、南側は奈良市と接している。北から国見岳山系が、南からは笠置山系が迫り、その間を東から西へ貫流する一級河川木津川沿いに開けた地域である。森林面積が町面積の約80%を占め、平地は極めて少ない地域である。



図表 I - 1 笠置町の地図

②交通

JR関西本線を利用した場合、大阪から約1時間40分、京都から約1時間30分、奈良から約30分の距離にあり、都会からのアクセスは比較的良好と言える。

また、半径100km内（自動車で2時間圏内のアクセス）に5つの政令指定都市（京都・大阪・名古屋・神戸・堺）と3つの県庁所在地（滋賀県大津市・奈良県奈良市・和歌山県和歌山市）を抱える全国でも特質すべき地域である。

③人口

笠置町における人口は、昭和22年臨時国勢調査の人口3,444人がピークで、その後、年々減少傾向を続け、平成27年12月の笠置町住民基本台帳では、1,468人であったものが、2021年（令和3年）8月の住民基本台帳では、1,213人と減少が続き、西日本で1番、全国の町の中でも2番目に少ない人口となっており、過疎地域の指定も受けている。

また、高齢者の比率も平成27年12月には45.30%だったものが、2021年（令和3年）8月には52.68%に上昇しており、高齢化が顕著に現れる地域となっている。

④産業

産業別の従業員数からは、第3次産業従事者が最も多く、次いで第2次産業、第1次産業となっている。産業は全体として経営規模が零細であり、後継者不足が全業種に共通している。これは、平地が少ないことから、基盤となる産業が育ちにくく、また新たな産業の誘致も容易ではないことからと言える。

そのような中ではあるが、昭和7年には笠置山と山麓及び木津川景勝地131.1haが国の「史跡及び名勝地」として指定されるなど、古くから観光地として知られている。そうした史跡等を活かし、交流人口の増加や商工業の振興、地域の賑わいを創出する動きが出ている。

業種	平成23年度末	平成26年度末	令和2年度末
建設業	20	18	19
製造業	11	9	8
卸売業	0	0	1
小売業	27	22	18
飲食・宿泊業	9	9	13
サービス業	13	11	14
その他	10	11	7
合計	90	80	80

図表 I - 2 笠置町の小規模事業者の状況<笠置町商工会調べ>

⑤観光資源

笠置町的主要な観光資源は、笠置町の西部に位置し、笠置町商店街から半径500m以内に集積している。

主要な観光施設としては、いこいの館、笠置キャンプ場、カヌー・ボルダリングフィールド、JR笠置駅舎、元料理旅館笠置館、駅前商店街、笠置寺などがある。

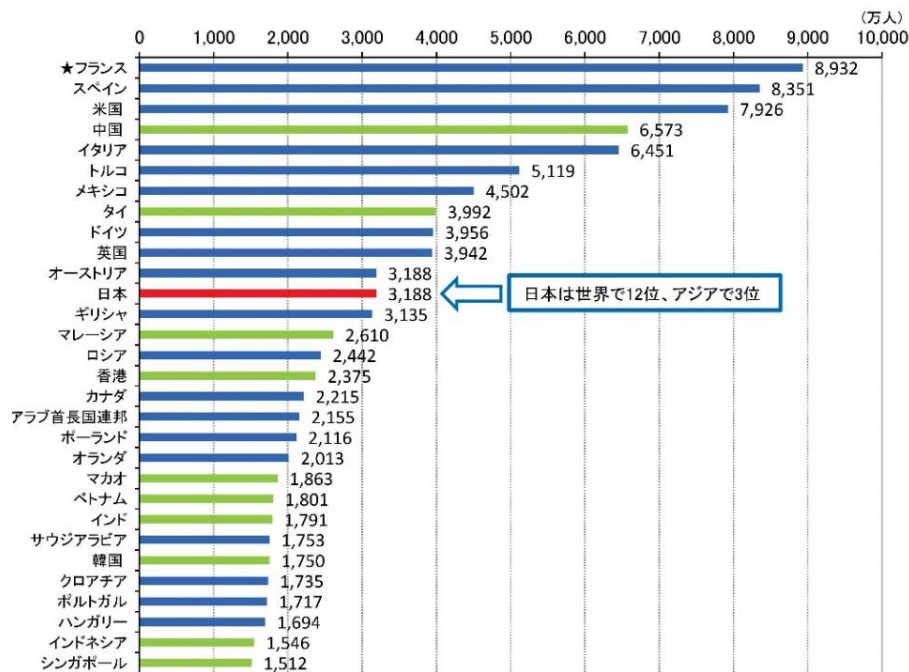
第Ⅱ章 調査結果

2-1. 訪日観光の動向

(1) 世界の観光動向

①新型コロナウイルス感染症拡大前（2019年）

UNWTO（国連世界観光機関）によると、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年（令和元年）の外国人旅行者受入数は、日本は3,188万人で世界12位（アジアで3位）となっていた。



図表Ⅱ-1 外国人旅行者受入数（2019年（令和元年））

<資料：UNWTO（国連世界観光機関）、各国政府観光局資料に基づき観光庁作成>

②新型コロナウイルス感染症拡大後（2020年）

UNWTO（国連世界観光機関）によると、2020年（令和2年）の世界全体の国際観光客数は、3億9400万人（前年比73.1%減）となった。2010年（平成22年）以降、10年連続で増加していた国際観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための渡航制限等により、大きく減少した。



図表Ⅱ-2 国際観光客数の推移<資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成>

(2) 訪日外国人旅行者の動向

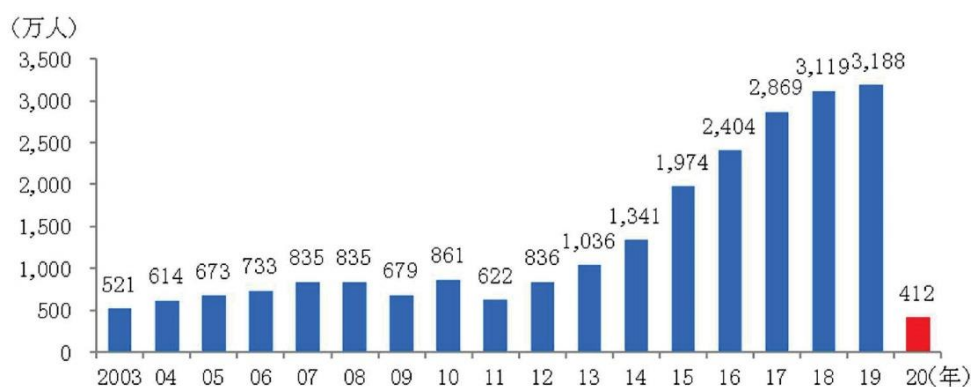
2020年（令和2年）1月以降、新型コロナウイルス感染者数の増加を受け、政府は水際対策の強化、イベント中止等の要請を行ったのに加え、4月には緊急事態宣言を発出し、外出自粛や休業要請等、感染拡大防止に向けた取組を進めた。

観光については、水際対策の徹底に加え、移動の制限や旅行控えの動きが生じたことなどにより、需要が大幅に減少するなど、非常に厳しい状況が続いている。

①訪日外国人旅行者数

訪日外国人旅行者数は、2019年（令和元年）までは、ビザの戦略的緩和や訪日外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充といった改革を進めるとともに、航空・鉄道・港湾等の交通ネットワークの充実、多言語表記をはじめとする受入環境整備、魅力的なコンテンツの造成、日本政府観光局等による対外プロモーション等により、7年連続で過去最高を更新していた。

しかし、2020年（令和2年）は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い各国・地域において水際対策等が強化された影響等により、2月以降大きく減少し、412万人（前年比87.1%減）となった。



図表Ⅱ－3 訪日外国人旅行者数の推移

<資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成>

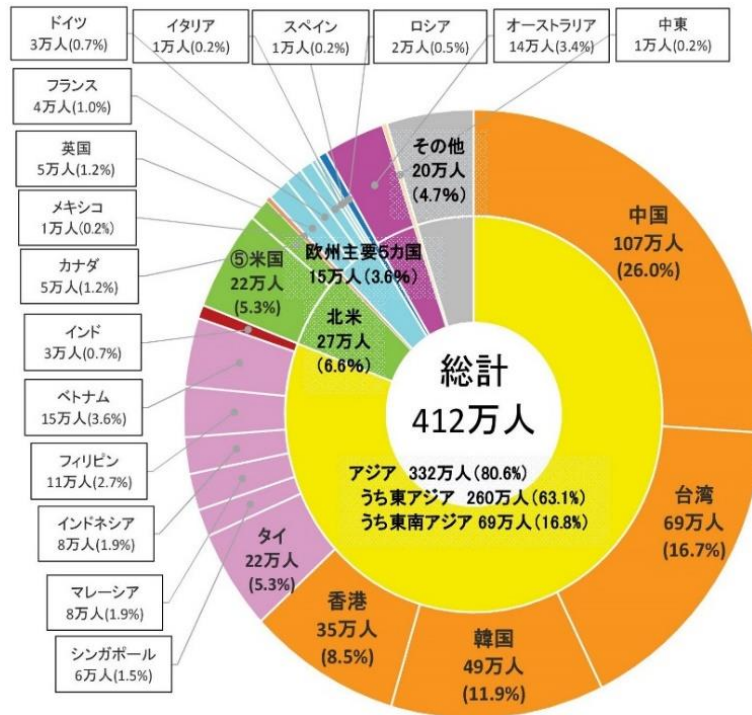
②訪日外国人旅行者数（国・地域別）

国・地域別にみると、アジアからの訪日外国人旅行者数が332万人となり、全体の80.6%を占めた。東アジアでは、中国が107万人と主要22市場のうちで最も多く、台湾（69万人）、韓国（49万人）と続き、全体の63%を占めた。東南アジアは、ASEAN（東南アジア諸国連合）の主要6箇国（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）からの訪日外国人旅行者数が69万人となった。

北米からの訪日外国人旅行者数は27万人となり、このうち米国は22万人となった。

欧州からの訪日外国人旅行者数は24万人となり、このうち主要5箇国（英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン）では15万人となった。オーストラリアからの訪日外国人旅行者数は14万人となった。

その他の地域では、南米が1.8万人、アフリカが0.7万人であった。



図表Ⅱ－４ 訪日外国人旅行者の内訳（2020年（令和2年））

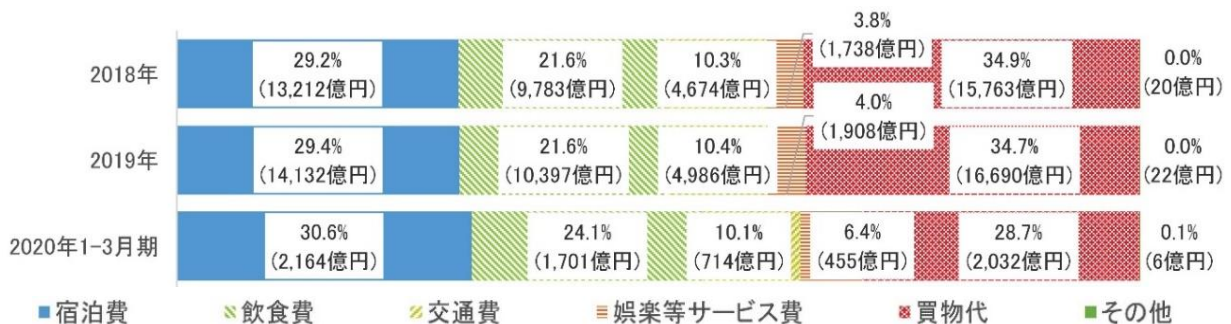
<資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成>

③訪日外国人旅行者による消費額

2020年（令和2年）における訪日外国人旅行者による日本国内における消費額は、試算によると、7,446億円（前年比84.5%減）となった。

年	訪日外国人旅行消費額
2012年 (平成24年)	1兆846億円
2013年 (平成25年)	1兆4,167億円
2014年 (平成26年)	2兆278億円
2015年 (平成27年)	3兆4,771億円
2016年 (平成28年)	3兆7,476億円
2017年 (平成29年)	4兆4,162億円
2018年 (平成30年)	4兆5,189億円
2019年 (令和元年)	4兆8,135億円
2020年 (令和2年)	7,446億円

図表Ⅱ－5 訪日外国人旅行者による消費額の推移<資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」>



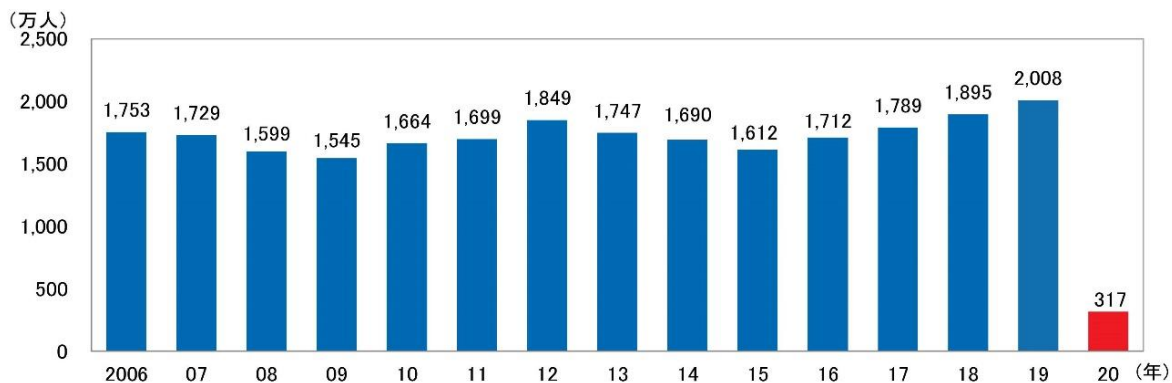
図表Ⅱ－6 費目別にみる訪日外国人旅行消費額<資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」>

2-2. 日本全体の観光の動向

(1) 日本人の海外旅行の動向

① 出国日本人数

2020年（令和2年）の出国日本人数は、前年比84.2%減の317.4万人と、過去最大の下げ幅を記録した。

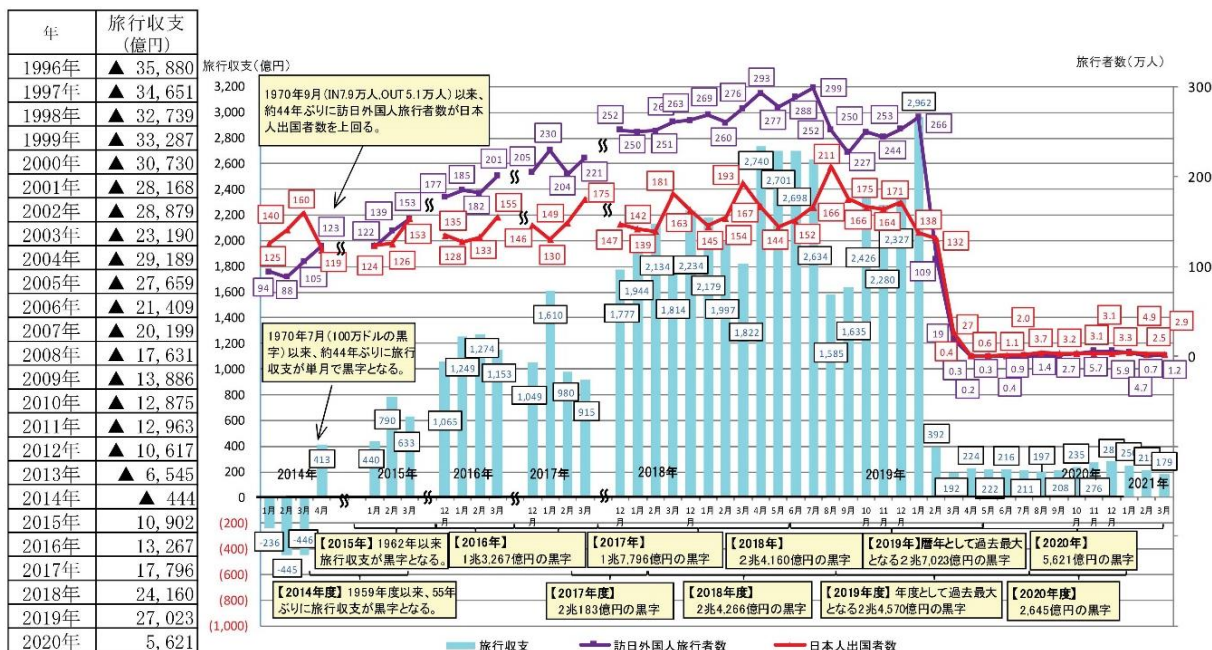


図表Ⅱ-7 出国日本人数の推移

<資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成>

② 旅行収支、訪日外国人旅行者数と日本人出国者数

旅行収支は2015年（平成27年）に53年ぶりに黒字に転化した後、2019年（令和元年）は過去最大となる2兆7,023億円の黒字となったが、2020年（令和2年）の黒字幅は5,621億円と、大幅に縮小した。



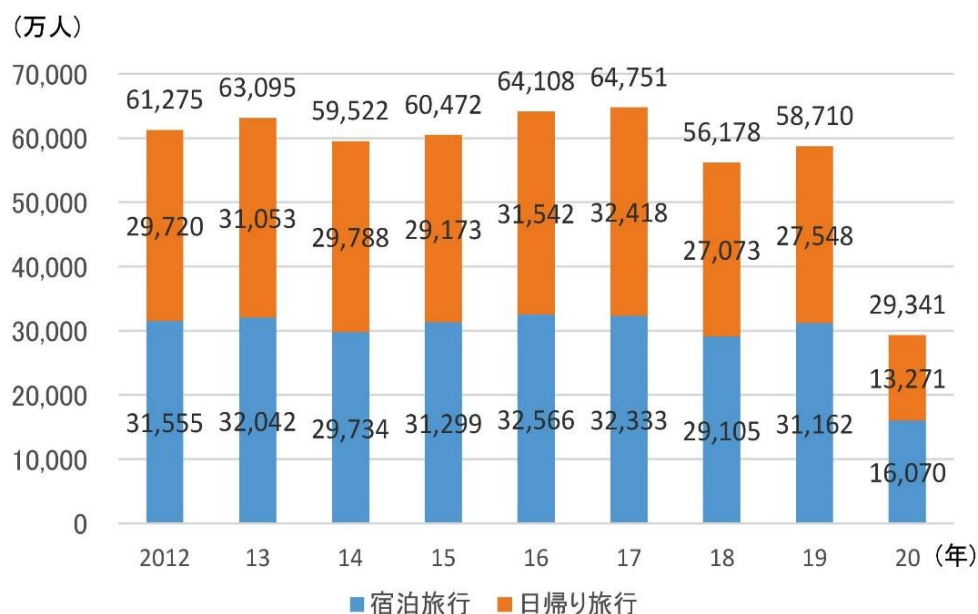
図表Ⅱ-8 旅行収支、訪日外国人旅行者数と日本人出国者数の推移

<資料：旅行収支は財務省「国際収支統計」、訪日外国人旅行者数は日本政府観光局「訪日外客統計」、日本人出国者数は法務省「出入国管理統計」に基づき観光庁作成>

(2) 国内旅行の動向

①日本人国内旅行（宿泊・日帰り）の状況

2020年（令和2年）の日本人の国内宿泊旅行者数は延べ1億6,070万人（前年比48.4%減）、国内日帰り旅行者数は延べ1億3,271万人（前年比51.8%減）と、宿泊旅行、日帰り旅行ともに大きく減少した。



図表Ⅱ－9 日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移

<資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」>

2020年（令和2年）の日本人1人当たりの国内宿泊旅行の回数は0.7回、日帰り旅行回数は0.7回、1人当たり宿泊数は1.2泊と、前年を大きく下回った。



図表Ⅱ－10 日本人1人当たりの宿泊旅行、日帰り旅行の回数及び宿泊数の推移

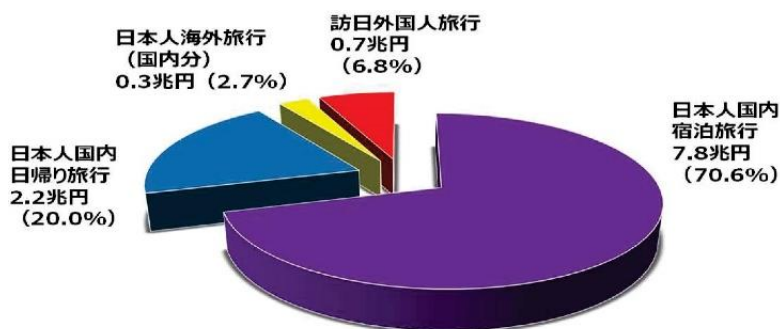
<資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」>

②日本国内における旅行消費額

2020年(令和2年)の日本人及び訪日外国人旅行者による日本国内における旅行消費額は、11.0兆円(前年比60.6%減)となった。

日本人による旅行消費額は10.3兆円(前年比55.6%減)であり、このうち旅行の国内旅行消費額は7.8兆円(前年比54.7%減)、日帰り旅行の国内旅行消費額は2.2兆円(前年比53.9%減)となった。

また、訪日外国人旅行者による旅行消費額は0.7兆円(前年比85.4%減)であり、訪日外国人旅行者による旅行消費額の割合は6.8%と、6年ぶりに10%を下回った。



(単位：兆円)

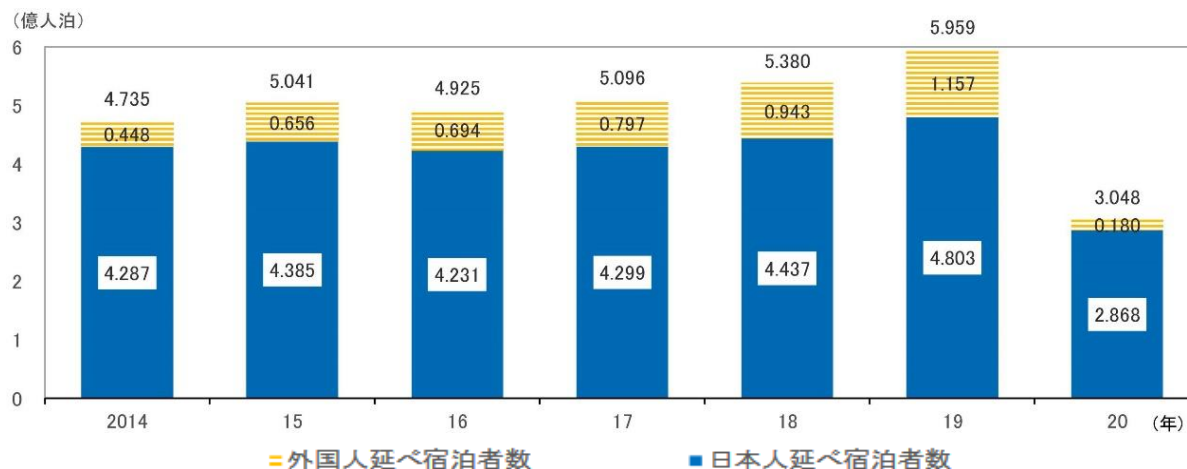
	2012年	13	14	15	16	17	18	19	20
日本人国内宿泊旅行	15.0	15.4	13.9	15.8	16.0	16.1	15.8	17.2	7.8
日本人国内日帰り旅行	4.4	4.8	4.5	4.6	4.9	5.0	4.7	4.8	2.2
日本人海外旅行(国内分)	1.3	1.2	1.1	1.0	1.1	1.2	1.1	1.2	0.3
訪日外国人旅行	1.1	1.4	2.0	3.5	3.7	4.4	4.5	4.8	0.7
合計	21.8	22.8	21.6	24.8	25.8	26.7	26.1	27.9	11.0

図表Ⅱ－11 日本国内における旅行消費額

<資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」及び「訪日外国人消費動向調査」>

③宿泊旅行の状況

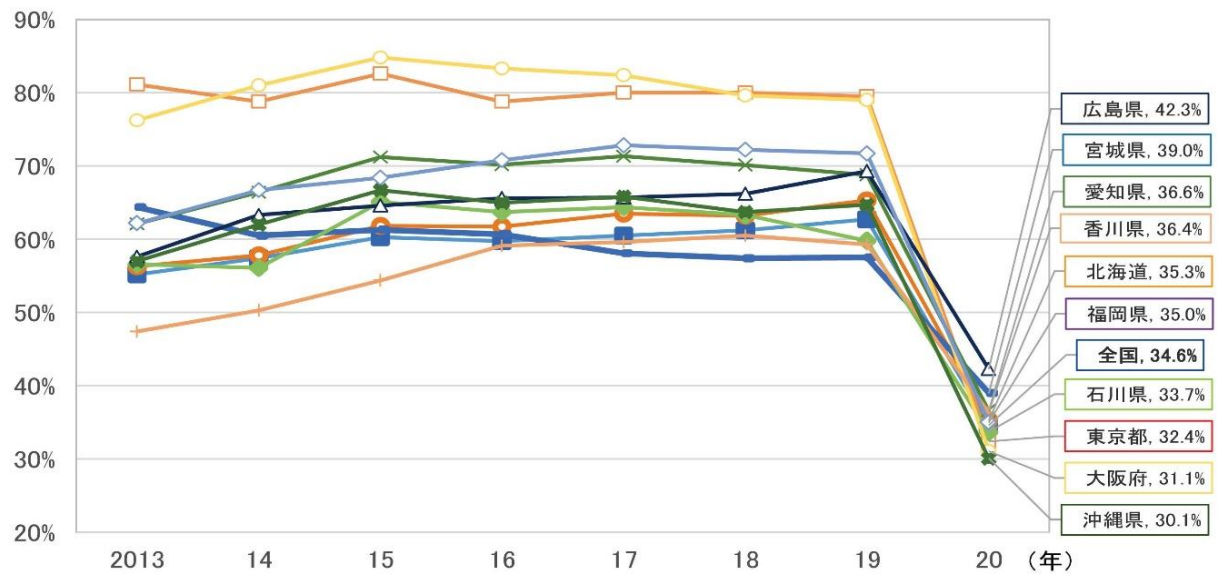
日本国内のホテル・旅館等における延べ宿泊者数は、2020年(令和2年)は3億480万人泊(前年比48.9%減)であった。このうち、日本人延べ宿泊者数は2億8,677万人泊(前年比40.3%減)、外国人延べ宿泊者数は1,803万人泊(前年比84.4%減)となった。また、延べ宿泊者数全体に占める外国人の割合は5.9%であった。



図表Ⅱ－12 日本人・外国人の延べ宿泊者数の推移

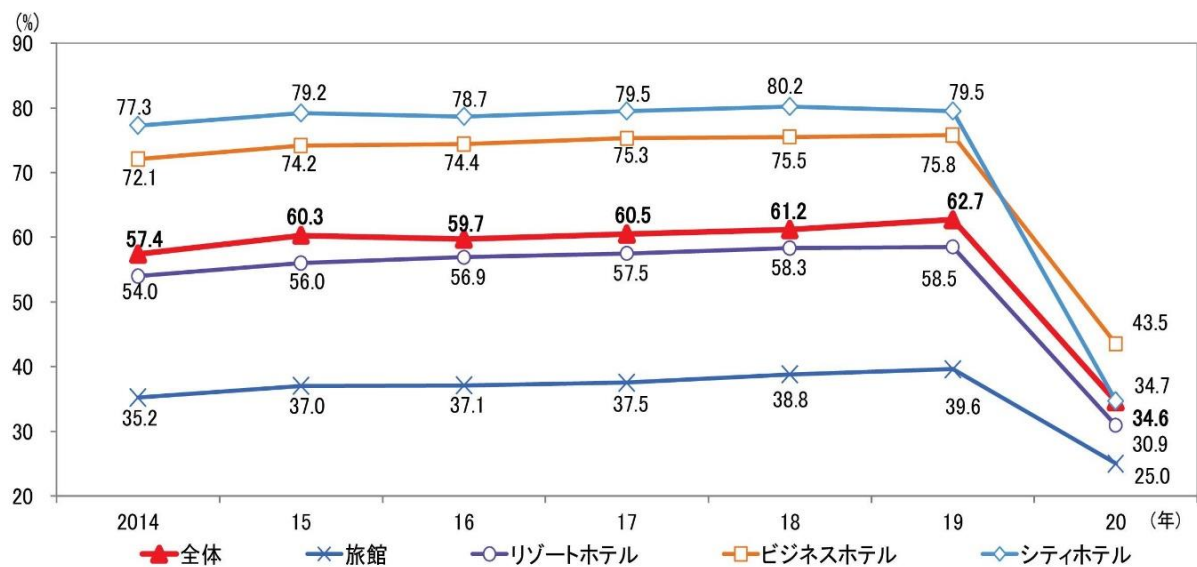
<資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」>

2020年（令和2年）の客室稼働率は34.6%となり、2010年（平成22年）以降、最低となった。また、客室稼働率は全国で落ち込んだ。



図表Ⅱ－13 客室稼働率の推移
 <資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」>

宿泊施設タイプ別にみると、2020年（令和2年）の客室稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルが相対的に高い水準となったものの、前年からの減少幅は旅館やリゾートホテルを上回った。



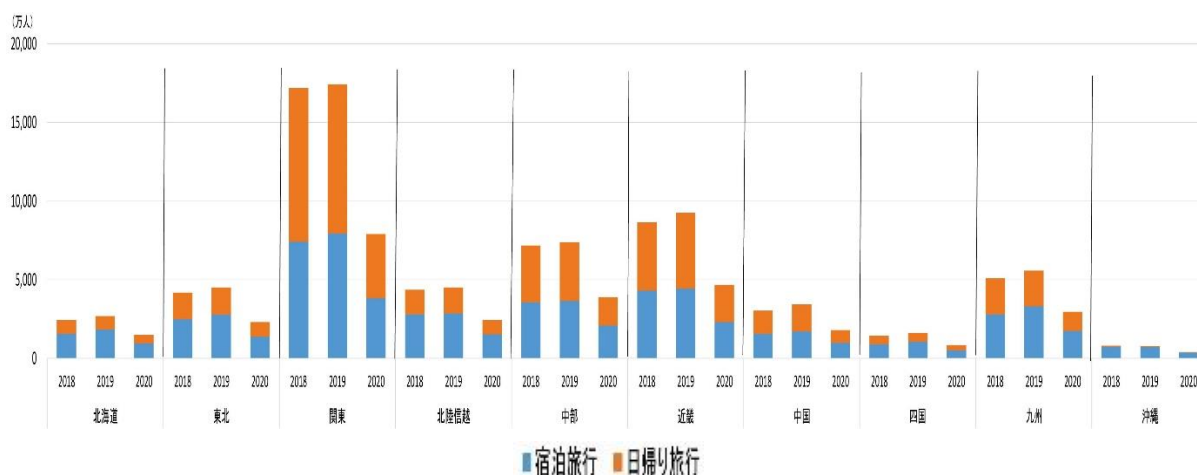
図表Ⅱ－14 宿泊施設タイプ別の客室稼働率の推移
 <資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」>

④地域における観光の状況

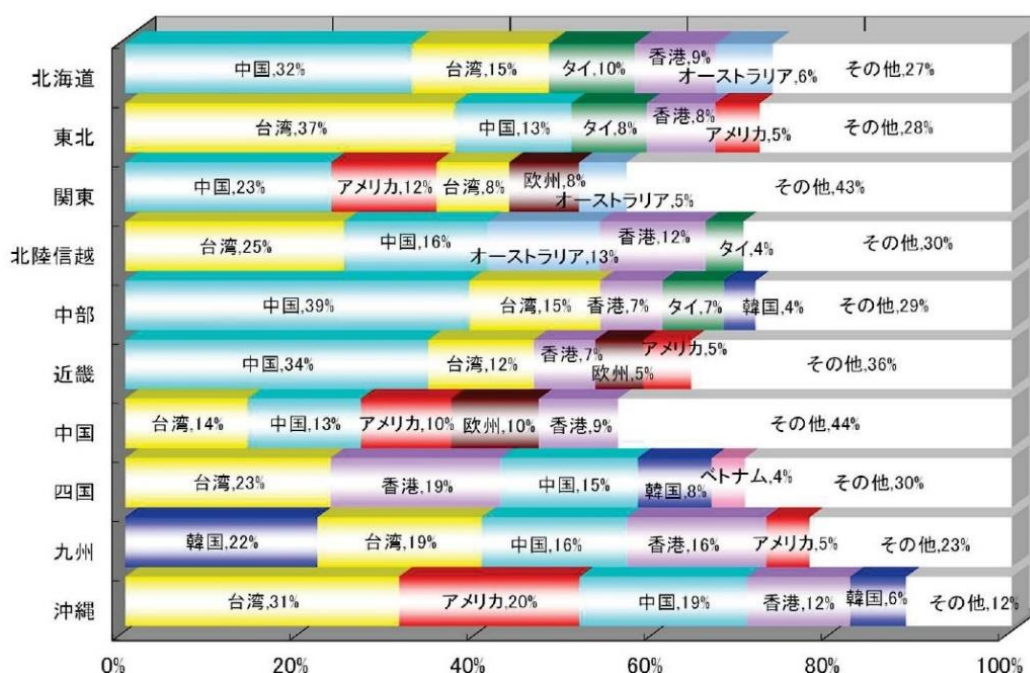
2020年（令和2年）の日本人の国内旅行延べ旅行者数を地方ブロック別にみると、関東が7,906万人（全体の26.9%）、近畿が4,670万人（同15.9%）、中部が3,894万人（同13.3%）となり、当該3地域で全国の延べ旅行者数の56.1%を占めた

新型コロナウイルス感染症の影響により宿泊者数が全体的に落ち込み、とりわけ外国人旅行者が占める割合が大きい関西では、2020年（令和2年）の外国人延べ宿泊者数は前年比86.5%減と大きく減少に転じた。特に関西国際空港での出入国規制は、関西の外国人宿泊者数に多大な影響を与える結果となった。

Go Toトラベル事業や地方公共団体が実施した需要喚起策により日本人延べ宿泊者数の減少幅は抑えられたが、感染再拡大により需要喚起策が中止となった影響から、足元でも低調に推移している。



図表Ⅱ-15 地方ブロック別延べ旅行者数<資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」>



図表Ⅱ-16 地方ブロック別外国人延べ宿泊者の国籍・地域別構成比 (2020年)

<資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」>

2-3. 京都観光の動向

(1) 京都府の観光入込客数及び観光消費額

①京都府（京都市除く）

2020年（令和2年）の京都府域（京都市を除く地域）における観光入込客数等について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言の発出や外出自粛の要請が行われ、多くの観光施設で閉館、休業、入場制限等が行われたこと、花火大会や祭りなどのイベントが中止になったこと、外国人の入国制限等の措置がとられたことなどから、前年に比べ大幅に減少した。

京都市を除く府域の観光入込客数は約1,626万人となり、2019年（令和元年）の入込客数（約2,078万人）から前年比21.8%減と大幅に減少している。また、京都市を除く府域の観光消費額は約603億円となり、2019年（令和元年）の観光消費額（約909億円）から前年比33.6%減と大幅に減少している。

②笠置町周辺

笠置町の属するお茶の京都エリアについては、新型コロナウイルス感染症の影響による観光施設の閉鎖、イベントの中止等が要因で、年間の観光入込客数は大きく減少した。一方、ハイキングコースやキャンプ施設、ゴルフ場など屋外利用の施設では、観光入込客数が増加した地点もある。

観光入込客数は2019年（令和元年）の約804万人から令和2年度の約675万人となり、前年比16.1%減となっている。また、観光消費額は2019年（令和元年）の約223億円から令和2年度の約160億円となり、前年比18.1%減となっている。

【参考】

<竹の里・乙訓エリア> 向日市、長岡京市、大山崎町

<お茶の京都エリア> 宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村

<森の京都エリア> 亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市

<海の京都エリア> 綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市

※福知山市、綾部市は海の京都、森の京都の双方に参画しているため、各エリアの合計値と「京都市以外合計」の数値は一致しない。

(単位：人、%)

(単位：千円、%)

	観光入込客数				観光消費額			
	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減 (A-B)	対前年比 (A/B)	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減 (A-B)	対前年比 (A/B)
竹の里・乙訓エリア	984,341	1,578,036	△ 593,695	62.4%	1,434,267	2,967,788	△ 1,533,521	48.3%
お茶の京都エリア	6,747,225	8,041,135	△ 1,293,910	83.9%	16,048,063	22,306,043	△ 6,257,980	71.9%
森の京都エリア	5,227,230	5,709,189	△ 481,959	91.6%	12,261,192	20,086,476	△ 7,825,284	61.0%
海の京都エリア	4,022,302	6,544,942	△ 2,522,640	61.5%	37,191,446	54,340,805	△ 17,149,359	68.4%
京都市以外 合計	16,261,472	20,784,986	△ 4,523,514	78.2%	60,312,533	90,879,022	△ 30,566,489	66.4%

図表Ⅱ－１７ エリア別、観光入込客数及び観光消費額対前年比較（新基準）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

(単位：人)

(単位：千円)

	観光入込客数			観光消費額		
	合計	日帰客	宿泊客	合計	日帰客	宿泊客
竹の里・乙訓エリア	984,341	981,768	2,573	1,434,267	1,431,978	2,289
お茶の京都エリア	6,747,225	6,669,867	77,358	16,048,063	15,465,346	582,717
森の京都エリア	5,227,230	5,019,192	208,038	12,261,192	10,559,420	1,701,771
海の京都エリア	4,022,302	3,172,753	849,549	37,191,446	18,753,888	18,437,557
京都市以外 合計	16,261,472	15,274,513	986,959	60,312,533	42,846,921	17,465,612

図表Ⅱ－１８ エリア別、日帰・宿泊別観光入込客数及び観光消費額（2020年）（新基準）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

※千円未満の端数を四捨五入しているため、数値が一致しない場合がある。

(単位：人、%、千円)

年次	観光入込客数				観光消費額				外国人宿泊客			
	総計	前年比	京都市以外	前年比	総計	前年比	京都市以外	前年比	総計	前年比	京都市以外	前年比
平成22年	76,741,221	103.6	27,186,221	100.0	696,348,989	106.2	47,194,989	100.6	999,154	125.2	15,300	109.4
平成23年	/	/	26,325,200	96.8	/	/	45,487,195	96.4	529,116	53.0	13,702	89.6
平成24年	/	/	26,207,991	99.6	/	/	45,259,574	99.5	862,160	162.9	17,337	126.5
平成25年	77,870,429	—	26,252,429	100.2	745,854,913	—	45,639,913	100.8	1,148,672	133.2	20,820	120.1
平成26年	83,748,416	107.5	28,112,416	107.1	813,856,338	109.1	51,283,338	112.4	1,866,245	162.5	37,553	180.4
平成27年	87,478,218	104.5	30,638,218	109.0	1,026,364,206	126.1	55,926,206	109.1	3,216,190	172.3	57,625	153.4
平成28年	87,411,201	99.9	32,189,201	105.1	1,144,668,698	111.5	58,509,698	104.6	3,256,611	101.3	71,810	124.6
平成29年	86,867,078	99.4	33,244,078	103.3	1,188,423,278	103.8	61,636,278	105.3	3,612,060	110.9	84,165	117.2
平成30年	85,047,306	97.9	32,297,306	97.2	1,370,136,756	115.3	61,910,756	100.4	4,594,862	127.2	91,493	108.7
令和元年	87,907,789	103.4	34,392,789	106.5	1,302,502,186	95.1	65,758,186	106.2	3,897,004	84.8	98,091	107.2
令和2年	/	/	21,389,665	62.2	/	/	44,444,130	67.6	462,303	11.9	13,492	13.8

図表Ⅱ－１９ 観光入込客数、観光消費額及び外国人宿泊客数の年次推移（旧基準）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

(2) 京都への観光入込客の実態

①観光入込客プロフィール（性別・年代構成）

2021年（令和3年）の全体では男性が55.1%、女性が43.0%で、前年と比べて男性の構成が高くなっているが、秋季調査では女性の構成が47.5%と高まっている。竹の里・乙訓、京都市内は女性が男性を上回る構成となっているのに対し、他の3エリアは男性が6割、女性が4割の構成となっている。

年代構成は調査別で大きな差はみられず年代は分散しているが、いずれの調査においても50代の構成が2割強で最も多く、40代と60代が次いでいる。



図表Ⅱ－20 京都への観光入込客プロフィール（性別・年代構成）

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

②旅行内容（宿泊の有無／旅行目的）

宿泊した人は26.0%で、前年を大きく下回っているが、コロナ禍が落ち着いた秋季調査においては32.9%と令和2年と同レベルに回復している。

旅行目的は88.8%が「観光目的」である。



図表Ⅱ－21 京都への旅行内容（宿泊の有無／旅行目的）

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

2-4. 笠置町における観光の動向

(1) 観光入込客数及び観光消費額

①観光入込客数及び観光消費額（概要）

笠置町における観光入込客数は、2019年（令和元年）の205,960人から2020年（令和2年）の156,465人となり、前年比24.0%減となっている。

また、観光消費額は2019年（令和元年）の約6.5億円から2020年（令和2年）の約5.4億円となり、前年比16.3%減となっている。

（単位：人、千円、%）

地域	市町村名	観光入込客数				観光消費額			
		令和2年	令和元年	増減	対前年比	令和2年	令和元年	増減	対前年比
京都市		-	53,515,000	-	-	-	1,236,744,000	-	-
乙訓	向日市	182,250	551,379	△ 369,129	33.1	6,066	156,911	△ 150,845	3.9
	長岡京市	641,887	1,274,802	△ 632,915	50.4	275,652	560,289	△ 284,637	49.2
	大山崎町	367,790	504,954	△ 137,164	72.8	65,717	129,108	△ 63,391	50.9
	小計	1,191,927	2,331,135	△ 1,139,208	51.1	347,435	846,308	△ 498,873	41.1
山城	宇治市	2,425,077	5,598,388	△ 3,173,311	43.3	5,327,997	13,193,485	△ 7,865,488	40.4
	城陽市	707,440	979,309	△ 271,869	72.2	1,319,520	1,925,267	△ 605,747	68.5
	久御山町	50,477	59,396	△ 8,919	85.0	10,315	5,333	4,982	193.4
	八幡市	1,755,128	2,289,244	△ 534,116	76.7	432,508	648,857	△ 216,349	66.7
	京田辺市	604,042	877,638	△ 273,596	68.8	1,337,769	1,890,106	△ 552,337	70.8
	井手町	181,997	376,595	△ 194,598	48.3	90,057	108,391	△ 18,334	83.1
	宇治田原町	169,439	166,950	2,489	101.5	149,669	131,859	17,810	113.5
	木津川市	528,831	916,469	△ 387,638	57.7	2,022,599	2,168,820	△ 146,221	93.3
	笠置町	156,465	205,960	△ 49,495	76.0	544,863	650,741	△ 105,878	83.7
	和束町	112,895	170,429	△ 57,534	66.2	337,639	495,716	△ 158,077	68.1
	精華町	587,857	718,204	△ 130,347	81.9	145,090	234,599	△ 89,509	61.8
	南山城村	667,149	919,254	△ 252,105	72.6	1,856,254	852,677	1,003,577	217.7
	小計	7,946,797	13,277,836	△ 5,331,039	59.9	13,574,280	22,305,851	△ 8,731,571	60.9
南丹	亀岡市	1,787,802	3,473,829	△ 1,686,027	51.5	4,845,164	8,620,411	△ 3,775,247	56.2
	南丹市	1,831,204	2,368,100	△ 536,896	77.3	2,766,589	3,198,242	△ 431,653	86.5
	京丹波町	1,919,359	2,679,510	△ 760,151	71.6	3,058,422	3,475,456	△ 417,034	88.0
	小計	5,538,365	8,521,439	△ 2,983,074	65.0	10,670,175	15,294,109	△ 4,623,934	69.8
中丹	綾部市	311,559	599,043	△ 287,484	52.0	472,247	653,307	△ 181,060	72.3
	福知山市	892,414	1,116,577	△ 224,163	79.9	1,539,039	2,507,782	△ 968,743	61.4
	舞鶴市	1,241,702	2,470,923	△ 1,229,221	50.3	2,648,335	4,272,713	△ 1,624,378	62.0
	小計	2,445,675	4,186,543	△ 1,740,868	58.4	4,659,621	7,433,802	△ 2,774,181	62.7
丹後	宮津市	2,144,200	3,205,200	△ 1,061,000	66.9	7,548,824	10,892,506	△ 3,343,682	69.3
	与謝野町	290,832	403,163	△ 112,331	72.1	428,587	563,809	△ 135,222	76.0
	伊根町	186,838	355,577	△ 168,739	52.5	1,069,712	1,251,314	△ 181,602	85.5
	京丹後市	1,645,031	2,111,894	△ 466,863	77.9	6,145,496	7,170,487	△ 1,024,991	85.7
	小計	4,266,901	6,075,834	△ 1,808,933	70.2	15,192,619	19,878,116	△ 4,685,497	76.4
京都市以外	21,389,665	34,392,787	△ 13,003,122	62.2	44,444,130	65,758,186	△ 21,314,056	67.6	
合計	-	87,907,787	-	-	-	1,302,502,186	-	-	

図表Ⅱ-22 令和2年観光入込客数及び観光消費額（旧基準）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

②観光入込客数（詳細）

2020年（令和2年）の笠置町における観光入込客数を府内客と府外客に分けると、府内客は31,836人（構成比20.3%）、府外客は124,629人（構成比79.7%）となっており、府外客の割合が大きい。また、前年（2019年（令和元年））比では、府内客は36.7%減、府外客は20.1%減となっており、いずれも大きく落ち込んでいるが、府内客の方が影響が大きくなっている。

日帰客と宿泊客に分けると、日帰客は155,256人（構成比92.3%）、宿泊客は1,209人（構成比7.7%）となっており、日帰客が極めて多い。また、前年（2019年（令和元年））比ではと、日帰客は23.5%減、宿泊客は61.2%減となっており、いずれも大きく落ち込んでいるが、宿泊客の方が影響が大きくなっている。なお、宿泊客のうち外国人については、10人となっており、前年（2019年（令和元年））比97.3%減と極めて落ち込んでいる。

（単位：人）

地域	市町村名	入込客数の内訳											
		府内・府外の別						日帰・宿泊の別					
		府内客			府外客			日帰客			宿泊客		
令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減		
乙訓	京都市	-	2,273,000	-	-	51,242,000	-	-	40,349,000	-	5,310,000	13,166,000	△ 7,856,000
	向日市	156,705	479,369	△ 322,664	25,545	72,010	△ 46,465	182,250	551,379	△ 369,129	0	0	△ 0
	長岡京市	475,454	769,852	△ 294,398	166,433	504,950	△ 338,517	635,951	1,262,569	△ 626,618	5,936	12,233	△ 6,297
	大山崎町	84,592	116,139	△ 31,547	283,198	388,815	△ 105,617	366,661	502,954	△ 136,293	1,129	2,000	△ 871
	小計	716,751	1,365,360	△ 648,609	475,176	965,775	△ 490,599	1,184,862	2,316,902	△ 1,132,040	7,065	14,233	△ 7,168
山城	宇治市	1,010,942	2,536,070	△ 1,525,128	1,414,135	3,062,318	△ 1,648,183	2,391,799	5,514,800	△ 3,123,001	33,278	83,588	△ 50,310
	城陽市	528,881	814,783	△ 285,902	178,559	164,528	14,031	696,492	964,441	△ 267,949	10,948	14,870	△ 3,922
	久御山町	47,716	28,495	△ 19,221	2,761	30,901	△ 28,140	50,429	59,247	△ 8,818	48	149	△ 101
	八幡市	843,189	931,564	△ 88,375	911,939	1,357,680	△ 445,741	1,753,987	2,280,878	△ 526,891	1,141	8,366	△ 7,225
	京田辺市	476,198	617,645	△ 141,447	127,844	259,993	△ 132,149	589,535	851,568	△ 262,033	14,507	26,070	△ 11,563
	井手町	127,397	263,617	△ 136,220	54,600	112,978	△ 58,378	180,301	372,766	△ 192,465	1,696	3,829	△ 2,133
	宇治田原町	120,796	117,393	3,403	48,643	49,557	△ 914	164,608	164,342	266	4,831	2,608	2,223
	木津川市	305,777	549,340	△ 243,563	223,054	367,129	△ 144,075	526,165	910,966	△ 384,801	2,666	5,503	△ 2,837
	笠置町	31,836	49,970	△ 18,134	124,629	155,990	△ 31,361	155,256	202,844	△ 47,588	1,209	3,116	△ 1,907
	和束町	56,758	83,009	△ 26,251	56,137	87,420	△ 31,283	111,977	163,873	△ 51,896	918	6,556	△ 5,638
	精華町	354,164	442,632	△ 88,468	233,693	275,572	△ 41,879	574,548	696,083	△ 121,535	13,309	22,121	△ 8,812
	南山城村	251,889	271,763	△ 19,874	415,260	647,491	△ 232,231	665,719	888,819	△ 223,100	1,430	30,435	△ 29,005
	小計	4,155,543	6,706,281	△ 2,550,738	3,791,254	6,571,557	△ 2,780,303	7,860,816	13,070,627	△ 5,209,811	85,981	207,211	△ 121,230
南丹	亀岡市	495,092	885,698	△ 390,606	1,292,710	2,588,131	△ 1,295,421	1,729,934	3,376,979	△ 1,647,045	57,868	96,850	△ 38,982
	南丹市	1,157,752	1,218,429	△ 60,677	673,452	1,149,671	△ 476,219	1,745,079	2,251,737	△ 506,658	86,125	116,363	△ 30,238
	京丹波町	1,026,316	1,552,842	△ 526,526	893,043	1,126,668	△ 233,625	1,909,859	2,649,234	△ 739,375	9,500	30,276	△ 20,776
		小計	2,679,160	3,656,969	△ 977,809	2,859,205	4,864,470	△ 2,005,265	5,384,872	8,277,950	△ 2,893,078	153,493	243,489
中丹	綾部市	245,323	378,684	△ 133,361	66,236	220,359	△ 154,123	271,411	548,813	△ 277,402	40,146	50,230	△ 10,082
	福知山市	599,945	745,733	△ 145,788	292,469	370,844	△ 78,375	756,687	932,402	△ 175,715	135,272	184,175	△ 48,448
	舞鶴市	443,018	971,368	△ 528,350	798,684	1,499,555	△ 700,871	1,174,150	2,352,355	△ 1,178,205	67,552	118,568	△ 51,016
		小計	1,288,286	2,095,785	△ 807,499	1,157,389	2,090,758	△ 933,369	2,202,248	3,833,570	△ 1,631,322	243,427	352,973
丹後	宮津市	465,800	514,400	△ 48,600	1,678,400	2,690,800	△ 1,012,400	1,750,800	2,555,800	△ 805,000	393,400	649,400	△ 256,000
	与謝野町	200,180	274,194	△ 74,014	90,652	128,969	△ 38,317	267,241	370,764	△ 103,523	23,591	32,399	△ 8,808
	伊根町	34,234	62,893	△ 28,659	152,604	292,684	△ 140,080	157,440	321,167	△ 163,727	29,398	34,410	△ 5,012
	京丹後市	771,567	969,317	△ 197,750	873,464	1,142,577	△ 269,113	1,340,875	1,743,999	△ 403,124	304,156	367,895	△ 63,739
		小計	1,471,781	1,820,804	△ 349,023	2,795,120	4,255,030	△ 1,459,910	3,516,356	4,991,730	△ 1,475,374	750,545	1,084,104
	京都市以外	10,311,521	15,645,189	△ 5,333,678	11,078,144	18,747,590	△ 7,669,446	20,149,154	32,490,779	△ 12,341,625	1,240,511	1,902,010	△ 661,499
	合計	-	17,918,189	-	-	69,989,590	-	-	72,839,779	-	6,550,511	15,068,010	△ 8,517,499

図表Ⅱ-23 府内・府外別、日帰・宿泊別（外国人内訳入り）、宿泊施設別

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

③観光消費額（詳細）

2020年（令和2年）の笠置町における観光消費額は約5.4億円であるが、内訳をみると、日帰が5.3億円（前年比15.2%減）、宿泊が0.1億円（前年比46.5%減）となっており、日帰が占める割合が極めて大きい。また、前年比では、宿泊の減少幅が非常に大きい。

(単位:千円)

地域	市町村名	総額	内訳	
			日帰	宿泊
京都市		-	-	-
乙訓	向日市	6,066	6,066	0
	長岡京市	275,652	232,672	42,980
	大山崎町	65,717	57,250	8,467
	小計	347,435	295,988	51,447
山城	宇治市	5,327,997	4,954,816	373,181
	城陽市	1,319,520	1,206,130	113,390
	久御山町	10,315	10,138	177
	八幡市	432,508	425,877	6,631
	京田辺市	1,337,769	1,219,948	117,821
	井手町	90,057	84,525	5,532
	宇治田原町	149,669	144,652	5,017
	木津川市	2,022,599	2,018,343	4,256
	笠置町	544,863	533,444	11,419
	和束町	337,639	330,788	6,851
	精華町	145,090	55,424	89,666
	南山城村	1,856,254	1,853,743	2,511
小計	13,574,280	12,837,828	736,452	
南丹	亀岡市	4,845,164	3,104,759	1,740,405
	南丹市	2,766,589	1,860,589	906,000
	京丹波町	3,058,422	3,020,360	38,062
	小計	10,670,175	7,985,708	2,684,467
中丹	綾部市	472,247	228,793	243,454
	福知山市	1,539,039	746,163	792,876
	舞鶴市	2,648,335	2,216,145	432,190
	小計	4,659,621	3,191,101	1,468,520
丹後	宮津市	7,548,824	3,390,673	4,158,151
	与謝野町	428,587	218,062	210,525
	伊根町	1,069,712	430,177	639,535
	京丹後市	6,145,496	1,423,724	4,721,772
小計	15,192,619	5,462,636	9,729,983	
京都市以外合計		44,444,130	29,773,261	14,670,869

図表Ⅱ-24 観光消費額（市町村別、日帰・宿泊別）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

【参考】

(単位:人、%、千円)

年次	観光入込客数				観光消費額				外国人宿泊客			
	総計	前年比	京都市以外	前年比	総計	前年比	京都市以外	前年比	総計	前年比	京都市以外	前年比
平成22年	76,741,221	103.6	27,186,221	100.0	696,348,989	106.2	47,194,989	100.6	999,154	125.2	15,300	109.4
平成23年			26,325,200	96.8			45,487,195	96.4	529,116	53.0	13,702	89.6
平成24年			26,207,991	99.6			45,259,574	99.5	862,160	162.9	17,337	126.5
平成25年	77,870,429	-	26,252,429	100.2	745,854,913	-	45,639,913	100.8	1,148,672	133.2	20,820	120.1
平成26年	83,748,416	107.5	28,112,416	107.1	813,856,338	109.1	51,283,338	112.4	1,866,245	162.5	37,553	180.4
平成27年	87,478,218	104.5	30,638,218	109.0	1,026,364,206	126.1	55,926,206	109.1	3,216,190	172.3	57,625	153.4
平成28年	87,411,201	99.9	32,189,201	105.1	1,144,668,698	111.5	58,509,698	104.6	3,256,611	101.3	71,810	124.6
平成29年	86,867,078	99.4	33,244,078	103.3	1,188,423,278	103.8	61,636,278	105.3	3,612,060	110.9	84,165	117.2
平成30年	85,047,306	97.9	32,297,306	97.2	1,370,136,756	115.3	61,910,756	100.4	4,594,862	127.2	91,493	108.7
令和元年	87,907,789	103.4	34,392,789	106.5	1,302,502,186	95.1	65,758,186	106.2	3,897,004	84.8	98,091	107.2
令和2年			21,389,665	62.2			44,444,130	67.6	462,303	11.9	13,492	13.8

図表Ⅱ-25 観光入込客数、観光消費額及び外国人宿泊客数の年次推移（旧基準）

<資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

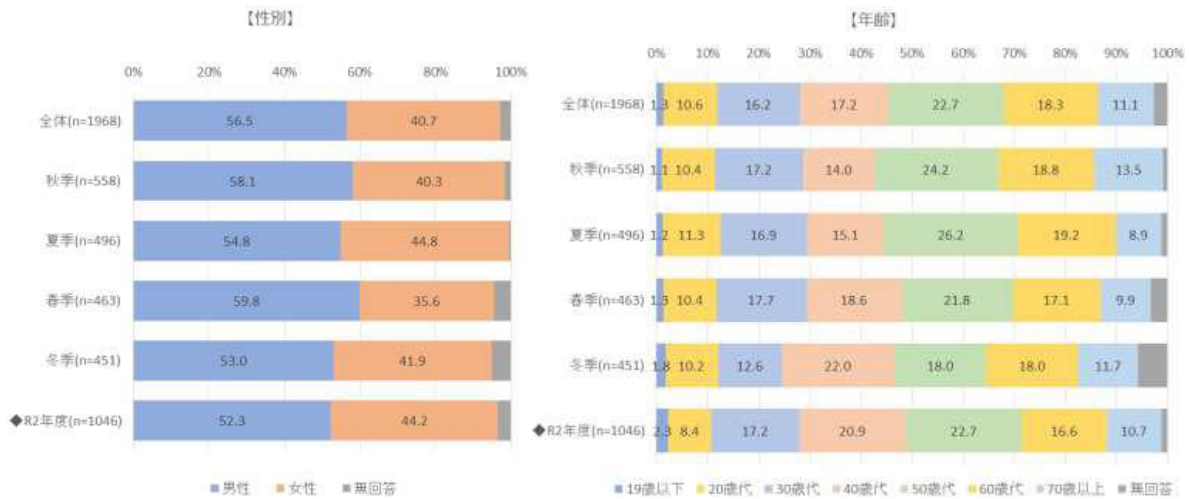
(2) 笠置町への観光入込客の実態

以下は、笠置町の属するお茶の京都エリアにおける、観光入込客の実態である。

①観光入込客プロフィール（性別・年代構成）

全体では男性が56.5%、女性が40.7%で、前年と比べて男性の構成がやや高くなっている。

年代構成は、30～60代までは2割前後、20代と70代以上が1割程度で分散している。

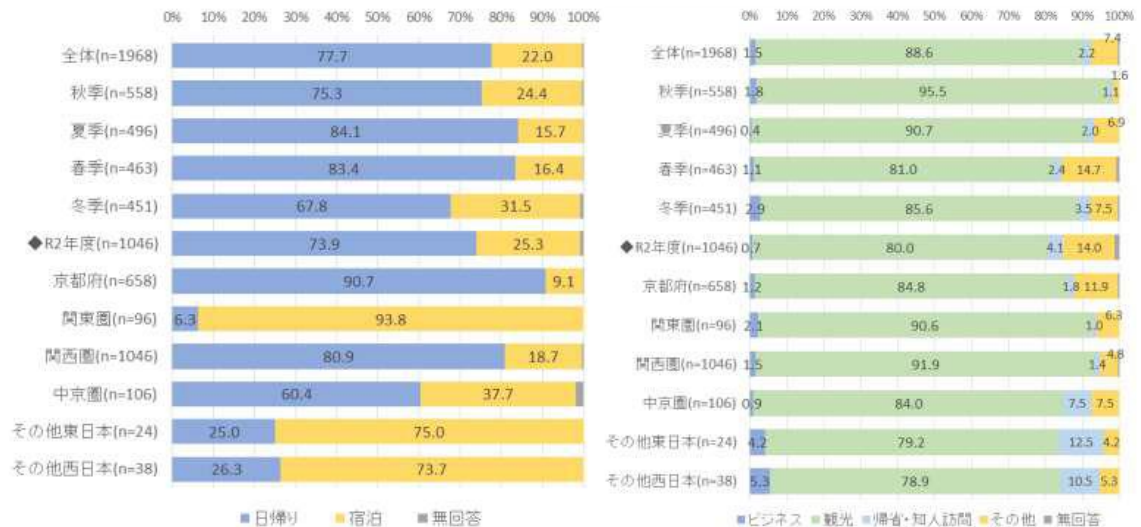


図表Ⅱ-26 お茶の京都エリアへの観光入込客プロフィール（性別・年代構成）
 <資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

②旅行内容（宿泊の有無／旅行目的）

宿泊者の平均は22.0%であり、前年の結果を若干下回っており、春季、夏季の宿泊率が1割台と低い。

また、旅行目的は88.6%が「観光」となっており、秋季調査においては95.5%と大半が「観光」目的での来訪となっている。



図表Ⅱ-27 お茶の京都エリアへの旅行内容（宿泊の有無／旅行目的）
 <資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

旅行目的は、「京都府域観光入込客等調査報告書」でも調査されており、笠置町においては、スポーツ・レクリエーションが95.1%、文化・歴史が4.6%、買物が0.3%となっている。

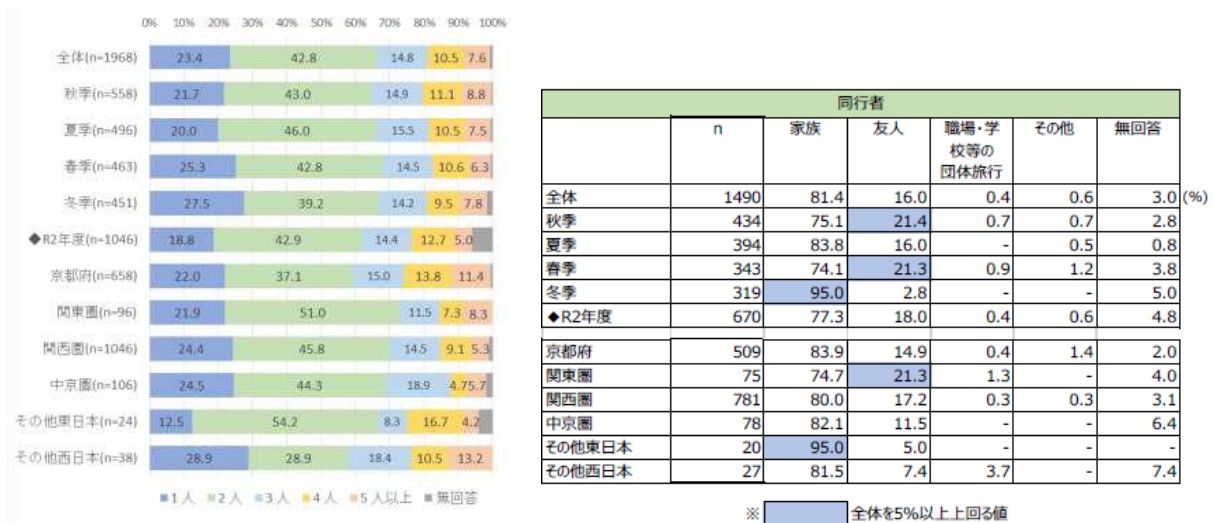
地域	市町村名	自然	文化・歴史	産業観光	スポーツ・レクリエーション	温泉・健康	買物	その他	行事・イベント	合計
乙訓	向日市		120,585		40,888		17,277		3,500	182,250
	長岡京市		630,287	11,336	264					641,887
	大山崎町		224,929		142,861					367,790
	小計	0	975,801	11,336	184,013	0	17,277	0	3,500	1,191,927
山城	宇治市	185,800	1,321,040	9,974	800,272		4,342		43,589	2,425,077
	城陽市	22	18,804	32,815	338,954	163,587	27,008		124,250	707,440
	久御山町	3,743			3,553			43,681		50,477
	八幡市	443,093	1,075,664	97,049	78,326			60,996		1,755,128
	京田辺市	150	15,575		551,878		32,265		4,174	604,042
	井手町	30,490	8,680	5,993	57,746		57,669	419	21,000	181,997
	宇治田原町		51,860		15,736		96,897	4,946		169,439
	木津川市		124,232	7,869	299,031	86,361			31,328	528,831
	笠置町		7,140		148,825		500			156,465
	和束町		720	22,734	53,939		34,685		837	112,895
	精華町			13,791	573,876				190	587,857
南山城村		1,240		188,371		17,752		459,786	667,149	
小計	662,958	2,625,955	193,778	3,167,954	229,948	271,098	110,042	685,164	7,946,797	
南丹	亀岡市	96,061	337,943	12,948	665,071	90,617	42,123		163,949	1,787,802
	南丹市	87,164	25,387	27,054	180,619		983,933	547,995		1,831,204
	京丹波町			23,376	425,081		16,984	1,453,918		1,919,359
	小計	163,225	363,310	63,378	1,270,771	90,617	1,421,232	2,001,883	163,949	5,538,365
中丹	綾部市	7,200	46,149	144,236	6,829	107,045				311,559
	福知山市	17,456	489,471	49,553	83,366	86,880	154,688		11,000	892,414
	舞鶴市	91,194	429,686	40,137	151,674		520,811			1,241,702
	小計	115,950	965,506	233,926	241,869	193,925	683,499	0	11,000	2,445,675
丹後	宮津市	1,330,400	499,200		1,900			312,700		2,144,200
	与謝野町		100,325	5,126	74,284	50,835	60,282			290,832
	伊根町		3,580	2,363	50,899	12,043	38,505	79,448		186,838
	京丹後市	16,559	152,537	31,659	558,018	632,174	5,123	248,097	864	1,645,031
	小計	1,346,959	755,642	39,148	685,081	695,052	103,910	640,245	864	4,266,901
合計	2,288,992	5,888,214	541,568	5,549,888	1,209,542	2,497,018	2,752,170	884,477	21,389,865	

図表Ⅱ-28 観光入込客数（市町村別、目的別）※京都市除く
 <資料：京都府商工労働観光部「京都府域観光入込客等調査報告書」>

③旅行内容（旅行人数／同行者）

旅行者数は「2人」での来訪が42.8%と最も多く、3人以上が32.9%、1人が23.4%となっており、前年と比べ1人での来訪がやや増加している。

同行者は「家族」が81.4%で最も多く、「友人」が16.0%となっており、それ以外での来訪者は僅かである。冬季調査では大半が「家族」となっているが、春季、秋季調査では「友人」が2割程度と比較的多く見られる。



図表Ⅱ-29 お茶の京都エリアへの旅行内容（旅行人数／同行者）
 <資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

④旅行内容(利用交通機関／居住地から)

居住地からの利用交通機関は「自家用車」が69.6%で中心となっており、前年と大きな傾向の差は見られない。その他では「バイク・自転車・徒歩」が8.4%で「自家用車」に次いでおり、男性層では1割強と多く見られる。

※ 全体を5%以上上回る値

	n	J R 新幹線	J R 在来線	地下鉄	私鉄	京都市営	鉄道	モノレール	観光バス	貸切バス	高速バス	市内バス	市内電車	バイク	タクシー	レンタカー	公用車	自家用車	航空機	徒歩	自転車	バイク	フェリー	その他	無回答
全体	1,968	3.9	5.2	7.2	-	-	0.1	0.3	0.2	2.4	0.2	2.9	-	0.2	0.7	69.6	0.3	8.4	-	-	-	-	-	1.8	
秋季	558	6.6	4.5	6.5	-	-	-	0.7	0.2	2.9	-	0.4	0.5	66.3	0.5	9.9	-	-	-	-	-	-	-	1.1	
夏季	496	1.6	5.2	6.0	-	-	0.2	-	0.4	1.2	-	0.2	0.2	73.2	-	11.3	-	-	-	-	-	-	-	0.4	
春季	463	2.4	4.5	7.3	-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	0.6	74.5	-	6.9	-	-	-	-	-	-	1.3	
冬季	451	4.7	6.9	9.1	-	-	-	0.2	-	3.3	-	-	-	1.3	64.5	0.4	4.9	-	-	-	-	-	-	4.7	
◆R2年度	1,046	4.5	3.1	6.6	-	-	-	0.1	0.1	2.6	-	0.1	0.4	69.9	0.4	9.0	-	-	-	-	-	1.0	3.0		
京都府	658	0.2	4.0	3.3	-	-	-	0.5	-	5.9	-	0.5	0.8	72.6	-	10.2	-	-	-	-	-	-	-	2.1	
関東圏	96	55.2	13.5	4.2	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	2.1	15.6	2.1	-	-	-	-	-	-	-	6.3	
関西圏	1,046	-	5.2	10.6	-	-	0.1	0.1	-	0.9	-	-	-	0.6	72.5	-	8.9	-	-	-	-	-	-	1.2	
中京圏	106	3.8	4.7	2.8	-	-	-	-	1.9	-	-	-	-	-	83.0	-	3.8	-	-	-	-	-	-	-	
その他東日本	24	33.3	8.3	4.2	-	-	-	4.2	-	-	-	-	-	-	41.7	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他西日本	38	28.9	7.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	5.3	
男性計	1,112	4.1	4.2	4.7	-	-	-	0.2	0.1	1.4	-	0.2	0.8	70.6	-	11.7	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
29歳以下	133	9.8	9.8	5.3	-	-	-	-	0.8	2.3	-	0.8	3.0	57.1	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	3.0	
30代	181	1.1	2.8	5.5	-	-	-	-	0.6	-	-	-	1.1	77.3	-	9.9	-	-	-	-	-	-	-	1.7	
40代	191	2.6	3.7	2.6	-	-	-	-	-	1.0	-	-	1.0	72.8	-	15.2	-	-	-	-	-	-	-	1.0	
50代	250	4.8	4.8	4.0	-	-	-	0.4	-	0.8	-	-	0.4	69.2	-	13.6	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
60歳以上	337	3.6	2.7	5.6	-	-	-	-	-	2.4	-	0.3	-	72.7	-	10.7	-	-	-	-	-	-	-	2.1	
女性計	801	3.6	6.6	10.9	-	-	0.1	0.4	0.2	3.6	-	0.1	0.5	68.2	0.6	3.5	-	-	-	-	-	-	-	1.6	
29歳以下	96	2.1	11.5	11.5	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	2.1	62.5	-	7.3	-	-	-	-	-	-	-	1.0	
30代	134	1.5	4.5	9.7	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-	77.6	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	2.2	
40代	134	2.2	6.7	12.7	-	-	-	-	0.7	3.7	-	-	-	71.6	0.7	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
50代	190	4.7	5.8	11.1	-	-	0.5	-	-	4.2	-	-	-	67.4	1.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	2.1	
60歳以上	226	4.4	6.6	11.1	-	-	-	1.3	-	5.3	-	0.4	0.4	65.0	-	4.0	-	-	-	-	-	-	-	1.3	

図表Ⅱ-30 お茶の京都エリアへの旅行内容(利用交通機関／居住地から)

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑤旅行内容(利用交通機関／エリア内)

お茶の京都エリア内の利用交通機関でも「自家用車」が69.7%で中心となっており、前年と大きな傾向の差は見られない。

※ 全体を5%以上上回る値

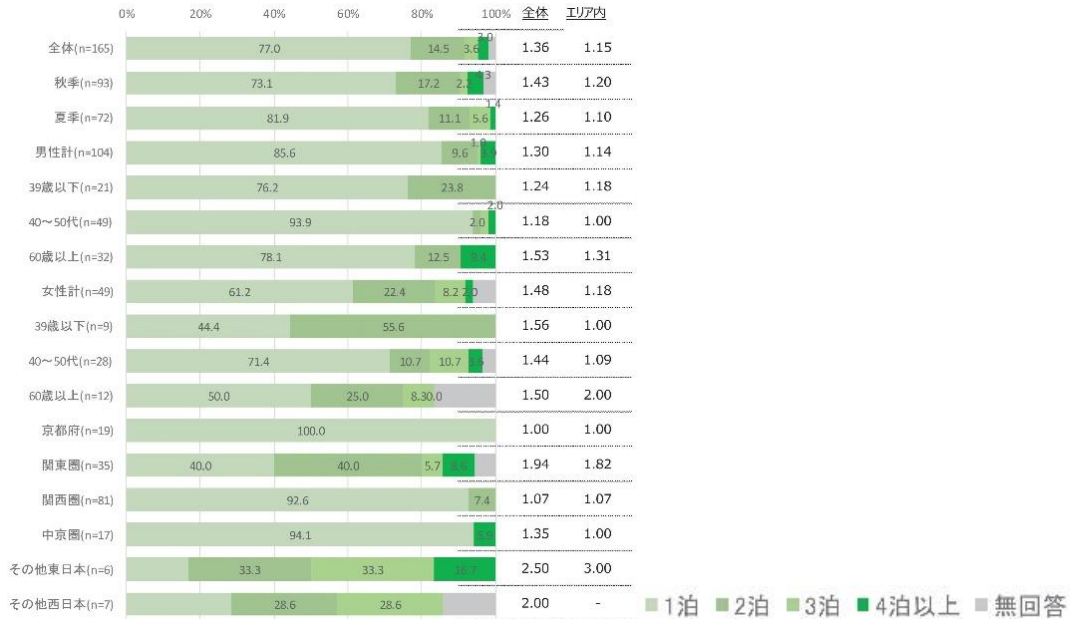
	n	J R 新幹線	J R 在来線	地下鉄	私鉄	京都市営	鉄道	モノレール	観光バス	貸切バス	高速バス	市内バス	市内電車	バイク	タクシー	レンタカー	公用車	自家用車	航空機	徒歩	自転車	バイク	フェリー	その他	無回答
全体	1,968	0.1	4.1	8.5	-	-	-	-	0.6	0.1	4.3	0.1	0.6	0.8	0.8	69.7	0.1	9.5	-	-	-	-	-	1.6	
秋季	558	0.2	4.8	7.3	-	-	-	-	1.8	-	5.2	0.4	0.9	0.7	66.7	0.4	10.6	-	-	-	-	-	-	1.1	
夏季	496	-	3.4	6.0	-	-	-	-	0.2	0.2	2.0	-	1.2	0.6	73.4	-	12.3	-	-	-	-	-	-	0.6	
春季	463	-	3.0	9.1	-	-	-	-	-	3.2	-	-	0.2	0.6	74.5	-	8.0	-	-	-	-	-	-	1.3	
冬季	451	-	5.1	12.0	-	-	-	-	0.2	-	6.9	-	-	1.3	64.3	-	6.7	-	-	-	-	-	-	3.5	
◆R2年度	1,046	-	3.8	5.5	-	-	-	-	0.3	-	4.6	-	0.4	1.0	69.0	-	9.5	-	-	-	-	1.1	4.9		
京都府	658	-	1.8	2.7	-	-	-	-	0.6	-	7.0	0.3	0.8	0.8	72.6	-	11.2	-	-	-	-	-	-	2.1	
関東圏	96	1.0	36.5	22.9	-	-	-	-	5.2	-	8.3	-	2.1	3.1	17.7	1.0	-	-	-	-	-	-	-	2.1	
関西圏	1,046	-	2.0	10.1	-	-	-	-	0.2	-	2.8	-	0.3	0.7	72.5	-	10.1	-	-	-	-	-	-	1.3	
中京圏	106	-	2.8	8.5	-	-	-	-	0.9	0.9	-	-	-	-	82.1	-	4.7	-	-	-	-	-	-	-	
その他東日本	24	-	25.0	20.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	4.2	45.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他西日本	38	-	10.5	18.4	-	-	-	-	2.6	-	2.6	-	2.6	-	52.6	2.6	5.3	-	-	-	-	-	-	2.6	
男性計	1,112	0.1	3.9	6.6	-	-	-	-	0.4	-	2.5	-	0.6	1.0	70.9	-	12.5	-	-	-	-	-	-	1.6	
29歳以下	133	-	12.0	11.3	-	-	-	-	0.8	-	3.0	-	1.5	3.0	57.9	-	8.3	-	-	-	-	-	-	2.3	
30代	181	-	1.7	5.0	-	-	-	-	-	1.7	-	-	-	1.1	77.3	-	11.6	-	-	-	-	-	-	1.7	
40代	191	-	2.1	5.2	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	1.0	72.8	-	15.7	-	-	-	-	-	-	0.5	
50代	250	-	5.2	4.8	-	-	-	0.4	-	1.6	-	0.8	0.8	69.6	-	14.8	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
60歳以上	337	0.3	1.2	7.1	-	-	-	-	0.6	-	3.6	-	0.9	0.3	73.0	-	11.3	-	-	-	-	-	-	1.8	
女性計	801	-	4.7	11.4	-	-	-	-	1.0	0.1	6.5	0.2	0.5	0.6	68.0	0.2	5.0	-	-	-	-	-	-	1.6	
29歳以下	96	-	8.3	9.4	-	-	-	-	1.0	1.0	6.3	-	1.0	2.1	62.5	-	7.3	-	-	-	-	-	-	1.0	
30代	134	-	3.7	6.7	-	-	-	-	0.7	-	4.5	-	-	-	77.6	-	4.5	-	-	-	-	-	-	2.2	
40代	134	-	3.7	13.4	-	-	-	-	-	8.2	-	0.7	-	-	70.9	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	
50代	190	-	5.3	13.2	-	-	-	0.5	-	5.3	0.5	0.5	-	66.8	1.1	4.7	-	-	-	-	-	-	-	2.1	
60歳以上	226	-	2.2	12.4	-	-	-	-	2.2	-	8.0	0.4	0.4	0.9	65.5	-	5.8	-	-	-	-	-	-	2.2	

図表Ⅱ-31 お茶の京都エリアへの旅行内容(利用交通機関／エリア内)

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑥宿泊日数

宿泊者の宿泊数の平均は1.4泊、うちお茶の京都エリア内は1.2泊となっている。

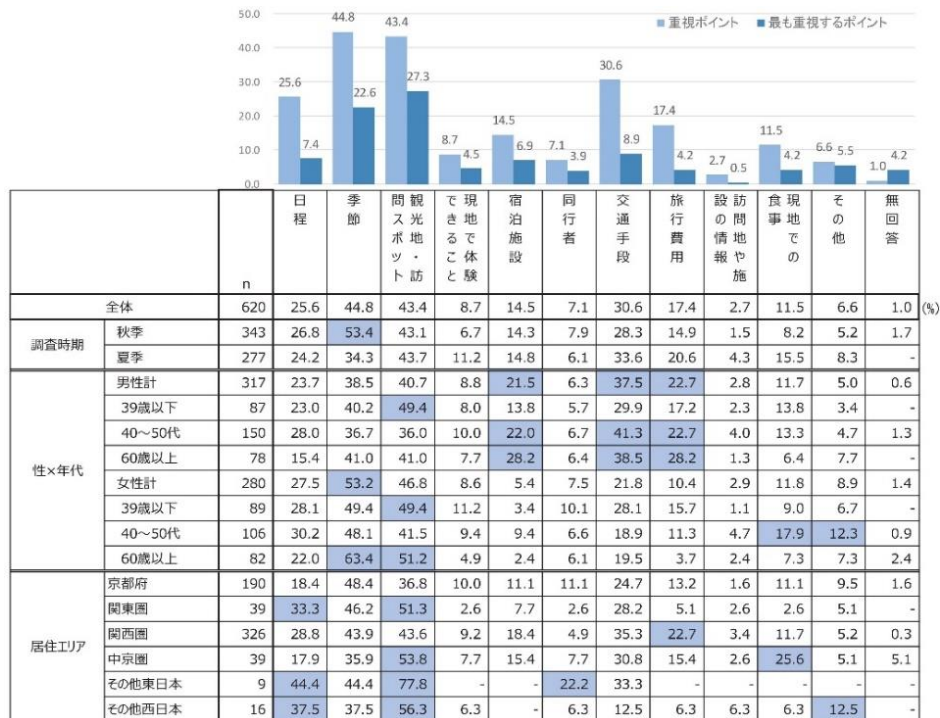


図表Ⅱ－32 お茶の京都エリアにおける宿泊日数

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑦旅行の重視ポイント

旅行の際の重視ポイントとしては、「季節」44.8%、「観光地・訪問スポット」43.4%が多く見られる他、「交通手段」30.6%、「日程」25.6%等が次いでいる。最も重視するポイントとしても「季節」と「観光地・訪問スポット」で半数を占めている。



図表Ⅱ－33 お茶の京都エリアにおける旅行の重視ポイント ※全体を5%以上上回る値

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑧情報源

情報源は、全体では、「家族・友人」が51.5%で最も多く、「よく来ている・以前から知っていた」が29.8%で次いでいるが、媒体関連では10%を上回るものは見られない。

		n	家族・友人	旅行会社	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	旅行ガイド・口コミサイト	その他HP	Facebook	Instagram	Twitter	YouTube	ポスター・パンフレット	京都の観光・物産展	その他	知っている	よく来ている	無回答
全体		620	51.5	2.6	7.6	4.7	2.6	5.6	6.0	2.9	2.3	6.8	4.0	4.5	4.2	29.8	2.6	
調査時期	秋季	343	49.6	4.7	12.5	5.5	1.7	4.7	8.5	3.5	3.2	4.4	6.1	5.2	4.1	31.5	3.8	
	夏季	277	53.8	-	1.4	3.6	3.6	6.9	2.9	2.2	1.1	9.7	1.4	3.6	4.3	27.8	1.1	
性×年代	男性計	317	48.9	2.5	7.3	4.7	2.8	6.6	8.2	2.2	1.6	9.1	5.0	4.1	3.5	34.4	2.2	
	39歳以下	87	55.2	4.6	9.2	3.4	3.4	4.6	9.2	2.3	2.3	8.0	3.4	3.4	4.6	29.9	3.4	
	40～50代	150	45.3	0.7	2.7	3.3	4.0	8.7	9.3	2.7	0.7	10.0	4.0	3.3	3.3	35.3	2.7	
	60歳以上	78	47.4	3.8	14.1	9.0	-	5.1	5.1	1.3	2.6	7.7	9.0	6.4	2.6	37.2	-	
	女性計	280	55.7	2.9	8.2	5.0	2.1	4.6	3.2	3.9	2.5	3.9	2.9	5.0	5.0	23.2	2.9	
	39歳以下	89	55.1	2.2	10.1	5.6	2.2	-	5.6	6.7	3.4	7.9	3.4	5.6	4.5	19.1	1.1	
	40～50代	106	50.9	2.8	3.8	3.8	2.8	10.4	3.8	3.8	3.8	3.8	2.8	4.7	4.7	27.4	2.8	
60歳以上	82	64.6	2.4	12.2	6.1	1.2	2.4	-	1.2	-	-	2.4	4.9	6.1	23.2	2.4		
居住エリア	京都府	190	46.3	-	10.5	6.3	0.5	3.7	4.2	2.1	2.1	3.2	4.2	5.8	3.7	37.9	3.2	
	関東圏	39	51.3	7.7	2.6	2.6	7.7	2.6	5.1	7.7	5.1	5.1	2.6	7.7	10.3	15.4	5.1	
	関西圏	326	55.2	2.8	7.1	4.3	2.8	6.7	7.4	3.1	2.1	9.8	4.3	3.1	3.4	29.1	1.2	
	中京圏	39	46.2	2.6	2.6	2.6	7.7	10.3	7.7	-	-	5.1	2.6	7.7	5.1	25.6	2.6	
	その他東日本	9	33.3	22.2	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	11.1	11.1	-	
その他西日本	16	62.5	6.3	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5		

図表Ⅱ-34 お茶の京都エリアにおける情報源 ※ 全体を5%以上上回る値

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑨興味のあるエリア内の観光資源・コンテンツ

興味を持ったコンテンツとしては、全体では「寺院・神社、名所・旧跡」が56.3%と最も多く、以下、「自然景観」が41.9%で次いでいる。

全体での上位項目以外では、39歳以下女性の「自然公園」27.0%、男性層の「海・川でのアウトドア」23.3%、「山でのアウトドア」20.5%等が比較的多く見られる。また、関西圏居住者では「山でのアウトドア」、「海・川でのアウトドア」が2割強と比較的多く見られる。

		n	旧寺院・神社・名所	自然景観	土産・街並み等の郷土景観	郷土芸能・祭り	伝統芸能・文化鑑賞	自然公園	日本食等の飲食	買物	体験プログラム等	博物館・美術館・資料館	スポーツ	山でのアウトドア	海・川でのアウトドア	美術館・花火・イルミネーション等	宿泊施設	温泉・入浴施設	地巡礼・マンガ・アニメの聖地	人力車等の乗り物	その他	特になし	無回答
全体		620	56.3	41.9	8.5	1.9	3.4	16.5	9.4	12.3	1.8	2.9	3.4	17.1	17.9	1.1	8.4	6.1	0.2	0.3	1.3	3.5	1.6
調査時期	秋季	343	60.1	48.4	7.9	2.9	5.0	17.8	8.5	12.0	1.5	2.6	2.9	20.4	18.1	1.5	7.9	7.0	-	0.6	0.6	2.3	0.9
	夏季	277	51.6	33.9	9.4	0.7	1.4	14.8	10.5	12.6	2.2	3.2	4.0	13.0	17.7	0.7	9.0	5.1	0.4	-	2.2	5.1	2.5
性×年代	男性計	317	49.8	39.4	7.6	2.5	3.5	17.0	9.1	10.1	1.3	1.9	3.8	20.5	23.3	0.3	12.0	7.6	0.3	-	1.6	5.4	0.9
	39歳以下	87	49.4	32.2	6.9	1.1	2.3	20.7	6.9	8.0	2.3	1.1	5.7	17.2	21.8	-	10.3	9.2	1.1	-	2.3	2.3	1.1
	40～50代	150	50.0	40.7	10.0	3.3	4.0	17.3	8.7	9.3	1.3	1.3	2.7	24.0	23.3	0.7	12.0	6.0	-	-	1.3	7.3	1.3
	60歳以上	78	50.0	46.2	3.8	2.6	3.8	12.8	12.8	14.1	-	3.8	3.8	17.9	24.4	-	14.1	9.0	-	-	1.3	5.1	-
	女性計	280	64.3	44.3	9.6	1.4	3.6	15.0	10.0	15.4	2.1	3.6	2.9	12.1	10.4	2.1	3.9	5.0	-	0.7	1.1	1.8	2.5
	39歳以下	89	53.9	40.4	7.9	-	4.5	27.0	9.0	12.4	3.4	2.2	1.1	18.0	14.6	3.4	4.5	3.4	-	1.1	1.1	1.1	2.2
	40～50代	106	65.1	39.6	9.4	0.9	3.8	12.3	13.2	16.0	1.9	5.7	3.8	13.2	11.3	1.9	4.7	6.6	-	-	1.9	0.9	1.9
60歳以上	82	74.4	53.7	12.2	3.7	2.4	6.1	7.3	18.3	1.2	2.4	3.7	4.9	4.9	1.2	2.4	4.9	-	1.2	-	3.7	2.4	
居住エリア	京都府	190	53.7	44.2	4.2	1.1	3.2	18.9	9.5	14.2	2.1	2.6	6.3	13.7	13.7	2.1	6.8	6.3	-	-	1.1	4.2	1.6
	関東圏	39	92.3	41.0	10.3	5.1	2.6	-	5.1	2.6	2.6	-	2.6	2.6	2.6	-	7.7	5.1	-	-	-	-	-
	関西圏	326	50.0	40.5	9.8	2.5	3.7	18.4	11.0	12.0	1.5	3.1	2.5	23.0	24.5	0.6	10.4	7.1	0.3	0.6	1.8	4.0	1.5
	中京圏	39	66.7	38.5	10.3	-	2.6	7.7	7.7	15.4	-	2.6	2.6	10.3	10.3	2.6	2.6	-	-	-	-	2.6	2.6
	その他東日本	9	88.9	44.4	-	-	-	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他西日本	16	81.3	56.3	31.3	-	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	-	-	6.3	

※ 全体を5%以上上回る値

図表Ⅱ-35 お茶の京都エリアにおける興味のあるエリア内の観光資源・コンテンツ

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑩満足度評価

総合満足度評価（⑩総合的に見て）では「やや満足」を含め全体の76.8%が好意的に評価しているが、「大変満足」と積極的に評価している人は8.7%程度となっている。

好意的評価が6割を超える項目は、「自然景観や雰囲気」、「街並み景観や雰囲気」、「観光施設」、「宿泊施設」（エリア内宿泊者のみ）、「感染対策等の取り組み」のみであり、「自然景観や雰囲気」、「街並み景観や雰囲気」以外では、「大変満足」とする積極的評価が10%を下回っている。



図表Ⅱ-36 お茶の京都エリアにおける満足度評価<全体>

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

また、以下では項目別の詳細を記載する。

自然景観や雰囲気

「やや満足」を含め全体の85.4%が好意的に評価しているが、「大変満足」とする積極的評価は19.5%で、前年の結果を大きく下回っている。

街並み景観や雰囲気

「やや満足」も含め全体の77.1%が好意的に評価しており、属性別で大きな傾向の差は見られない。

地域での食事

「やや満足」も含め全体の59.9%が好意的に評価しており、好意的評価トータルではR2年の結果を上回っている。関東圏居住者では、74.4%が好意的に評価しており、積極的評価も15.4%で他エリア居住者を上回っている。

観光施設

「やや満足」を含め全体の63.9%が好意的に評価しており、属性別で大きな傾向の差は見られないが、39歳以下女性で「大変満足」と積極的に評価している人が15.7%とやや多く見られる。

地域ならではの土産品

「やや満足」を含め全体の57.0%が好意的に評価しており、39歳以下の女性では「大変満足」と積極的に評価している人が15.7%とやや多く見られる。

地域内の移動の快適さ

「やや満足」を含め好意的に評価しているのは全体の59.4%となっており、好意的評価全体ではR2年を上回っている。また、50歳以下男性と関西圏、中京圏居住者では不満を感じている人も5%程度見られる。

地域内の案内標識等の整備状況

「やや満足」を含め好意的に評価している人は54.4%程度であり、不満を感じている人も4.3%と前年と同程度見られる。

エリアの観光情報

好意的に評価している人は全体の59.2%程度となっているが、関東圏居住者では「大変満足」と積極的に評価している人が17.9%と比較的多く見られる。

宿泊施設

「やや満足」を含め宿泊施設利用者の74.5%が好意的に評価している。

感染対策のとりくみ

「やや満足」を含め全体の67.1%が好意的に評価しており、前年を大きく上回っている。

①項目別満足度評価<属性別傾向>

「大変満足」+「満足」では、40～50代女性で、「大変満足のみ」では39歳以下の女性で、全体の結果を大きく上回る項目が多く見られる。

		大変満足+満足										
		n	① 自然景観 や雰囲気	② 街並み景観 や雰囲気	③ 食事	④ 観光施設	⑥ 土産品	⑦ 移動の快適さ	⑧ 案内標識等 の整備状況	⑨ 観光情報	⑩ 感染対策等 の取り組み	⑫ 総合的に見て
全体		620	61.4	55.0	36.0	37.9	33.1	33.8	31.7	31.3	46.3	45.3
調査時期	秋季	343	60.4	56.0	37.3	35.8	30.1	33.8	32.6	32.3	50.2	46.4
	夏季	277	62.8	53.8	34.3	40.5	36.8	33.6	30.3	30.0	41.6	44.1
男性計		317	60.9	53.3	33.8	36.9	29.3	31.3	29.7	28.4	45.1	44.2
性×年代	39歳以下	87	57.4	54.0	28.7	32.2	29.8	32.1	26.4	21.8	39.1	46.0
	40-50代	150	61.4	54.0	34.7	38.7	30.0	32.6	32.7	32.7	49.3	44.7
	60歳以上	78	65.4	52.6	38.4	39.7	28.2	28.2	28.2	28.2	44.9	42.3
	女性計	280	62.8	57.8	38.5	38.9	37.8	36.0	33.2	33.9	47.5	47.2
	39歳以下	89	61.8	59.6	35.9	40.4	37.0	30.3	32.6	30.4	42.7	51.7
	40-50代	106	65.1	59.5	39.6	41.5	41.5	41.5	37.7	37.7	51.9	47.2
60歳以上	82	63.4	56.1	41.4	35.4	35.3	36.6	29.3	34.1	48.8	43.9	

		大変満足のみ										
		n	① 自然景観 や雰囲気	② 街並み景観 や雰囲気	③ 食事	④ 観光施設	⑥ 土産品	⑦ 移動の快適さ	⑧ 案内標識等 の整備状況	⑨ 観光情報	⑩ 感染対策等 の取り組み	⑫ 総合的に見て
全体		620	19.5	16.3	8.7	9.5	7.3	7.3	7.3	7.6	9.4	8.7
調査時期	秋季	343	21.3	18.1	10.2	8.7	7.9	7.9	8.7	9.6	11.4	8.2
	夏季	277	17.3	14.1	6.9	10.5	6.5	6.5	5.4	5.1	6.9	9.4
男性計		317	17.7	14.8	7.9	8.5	4.4	5.4	5.4	6.0	8.5	7.6
性×年代	39歳以下	87	21.8	18.4	6.9	9.2	5.7	5.7	4.6	3.4	9.2	6.9
	40-50代	150	14.7	13.3	10.0	10.7	4.7	7.3	7.3	10.0	11.3	10.7
	60歳以上	78	19.2	14.1	5.1	3.8	2.6	1.3	2.6	1.3	2.6	2.6
	女性計	280	22.1	18.2	9.6	10.7	10.7	8.9	8.9	9.6	10.4	10.4
	39歳以下	89	23.6	22.5	14.6	15.7	15.7	10.1	12.4	12.4	9.0	13.5
	40-50代	106	25.5	18.9	11.3	10.4	8.5	9.4	7.5	9.4	12.3	12.3
60歳以上	82	17.1	13.4	2.4	6.1	8.5	7.3	7.3	7.3	9.8	4.9	

※ 全体を5%以上上回る値

図表Ⅱ-37 お茶の京都エリアにおける項目別満足度評価<属性別傾向>

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑫再来訪意向

大半が再来訪意向を示しており、24.8%が「大変思う」と積極的な意向を示しているが、積極的意向は前年を大きく下回っている。

50代以下女性では積極的意向者が3割と比較的多く見られる。



図表Ⅱ－38 お茶の京都エリアにおける再来訪意向

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑬推奨意向

全体の77.2%が周囲の人にお茶の京都エリアの旅行を勧めたいとしており、39歳以下女性では積極的な意向者が31.5%と比較的多く見られる。



図表Ⅱ－39 お茶の京都エリアにおける推奨意向

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

⑭移住定住形態の意向

興味のある地域滞在や移住形態としては、全体の4割弱がいずれかの形態を回答しており、内訳は「ワーケーション」が27.6%と最も多く、以下、「二地域居住」17.9%、「地域との関わり」16.0%、「お試し暮らし」15.2%の順となっている。また、50代以下の男性では「移住」も16%程度と比較的多く見られる。

お茶の京都エリアでの滞在や移住定住形態に対し全体の2割弱がいずれかの形態を検討候補として回答しており、39歳以下男性では「ワーケーション」、「地域との関わり」、40～50代男性では「二地域居住」、「地域との関わり」が比較的多く見られる。

※ 全体を5%以上上回る値

		興味のある移住定住形態							検討候補							
		ワーケーション	地域との関わり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答	ワーケーション	地域との関わり	二地域居住	お試し暮らし	移住	特になし	無回答	
		n							n							
全体	620	27.6	16.0	17.9	15.2	10.8	40.8	16.1	344	8.4	6.1	7.3	6.4	5.5	35.8	45.9
調査時期	秋季	343	28.9	14.6	18.1	15.5	7.6	35.6	173	10.4	5.8	9.8	7.5	6.9	38.2	38.2
	夏季	277	26.0	17.7	17.7	14.8	14.8	47.3	171	6.4	6.4	4.7	5.3	4.1	33.3	53.8
	男性計	317	29.3	19.9	20.8	17.0	15.5	39.7	155	9.0	9.0	8.4	7.1	7.1	38.7	38.7
性×年代	39歳以下	87	32.2	24.1	19.5	17.2	16.1	32.2	42	19.0	11.9	7.1	9.5	4.8	33.3	35.7
	40～50代	150	32.0	21.3	24.0	20.0	16.0	40.7	59	8.5	11.9	13.6	10.2	10.2	47.5	27.1
	60歳以上	78	21.8	11.5	16.7	11.5	12.8	47.4	53	1.9	3.8	3.8	1.9	5.7	34.0	52.8
	女性計	280	25.7	11.8	15.0	12.9	6.1	41.8	181	8.3	3.9	6.6	6.1	4.4	34.3	50.3
	39歳以下	89	32.6	11.2	15.7	18.0	6.7	31.5	46	10.9	4.3	8.7	8.7	6.5	34.8	41.3
	40～50代	106	32.1	16.0	16.0	13.2	6.6	42.5	76	9.2	5.3	9.2	6.6	3.9	36.8	46.1
60歳以上	82	11.0	7.3	13.4	7.3	4.9	53.7	59	5.1	1.7	1.7	3.4	3.4	30.5	62.7	
居住エリア	京都府	190	25.8	17.9	17.9	15.3	10.0	37.9	116	6.9	6.9	6.9	6.0	2.6	33.6	50.9
	関東圏	39	20.5	5.1	12.8	12.8	7.7	56.4	23	8.7	8.7	8.7	4.3	8.7	43.5	34.8
	関西圏	326	31.3	17.5	18.4	14.7	11.3	39.9	170	10.0	5.9	7.6	6.5	7.1	34.1	44.1
	中京圏	39	17.9	5.1	17.9	23.1	12.8	51.3	18	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	50.0	44.4
	その他東日本	9	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	44.4	10	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	その他西日本	16	18.8	18.8	18.8	12.5	12.5	31.3	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3

図表Ⅱ-40 お茶の京都エリアにおける移住定住形態の意向

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

いずれかの形態に興味を持つ人が地域での滞在や居住を検討する際の重視ポイントとしては、「公共交通機関等によるアクセスの良さ」が46.8%で最も多く、「自然など滞在・居住地周辺の環境」40.8%、「車移動によるアクセスの良さ」37.1%が次いでいる。

		公共交通機関等によるアクセスの良さ	車移動によるアクセスの良さ	自然など滞在・居住地周辺の環境	店舗や病院の利便性	生活の利便性	その他	無回答
		n						
全体	267	46.8	37.1	40.8	22.8	31.1	4.9	9.0
調査時期	秋季	153	41.2	41.2	47.7	19.6	34.0	0.7
	夏季	114	54.4	31.6	31.6	27.2	3.5	-
性×年代	男性計	152	38.8	40.1	39.5	21.1	30.3	0.7
	39歳以下	42	35.7	52.4	28.6	23.8	26.2	7.1
	40～50代	77	41.6	33.8	37.7	23.4	31.2	3.9
	60歳以上	32	34.4	40.6	59.4	12.5	34.4	3.1
	女性計	106	57.5	34.0	42.5	26.4	33.0	5.7
	39歳以下	43	48.8	32.6	51.2	23.3	27.9	7.0
40～50代	45	66.7	40.0	33.3	33.3	40.0	4.4	
60歳以上	18	55.6	22.2	44.4	16.7	27.8	5.6	
居住エリア	京都府	74	33.8	39.2	45.9	23.0	27.0	-
	関東圏	12	83.3	8.3	16.7	25.0	58.3	25.0
	関西圏	159	47.8	40.9	40.3	21.4	29.6	6.3
	中京圏	15	60.0	26.7	46.7	33.3	53.3	-
	その他東日本	2	100.0	-	-	-	-	-
	その他西日本	5	60.0	-	40.0	40.0	20.0	-

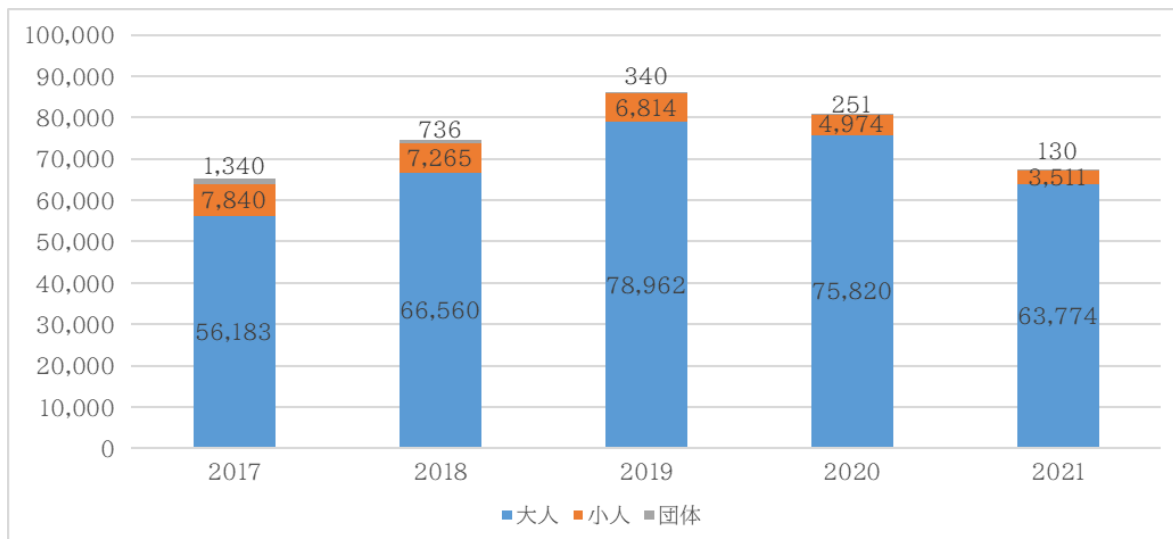
図表Ⅱ-41 お茶の京都エリアにおける移住定住形態の意向

<資料：公益社団法人京都府観光連盟「令和3年度京都府観光客動向調査 調査結果」>

2-5. 笠置町キャンプ場の利用者数の動向

①利用者数の推移

2021年（令和3年）における笠置町キャンプ場の利用者数は、67,415人であった。5年間の推移をみると、新型コロナウイルス発生前の2019年までは順調に利用者数が伸びてきていたが、新型コロナウイルス発生後は利用者数が落ち込んでいる。

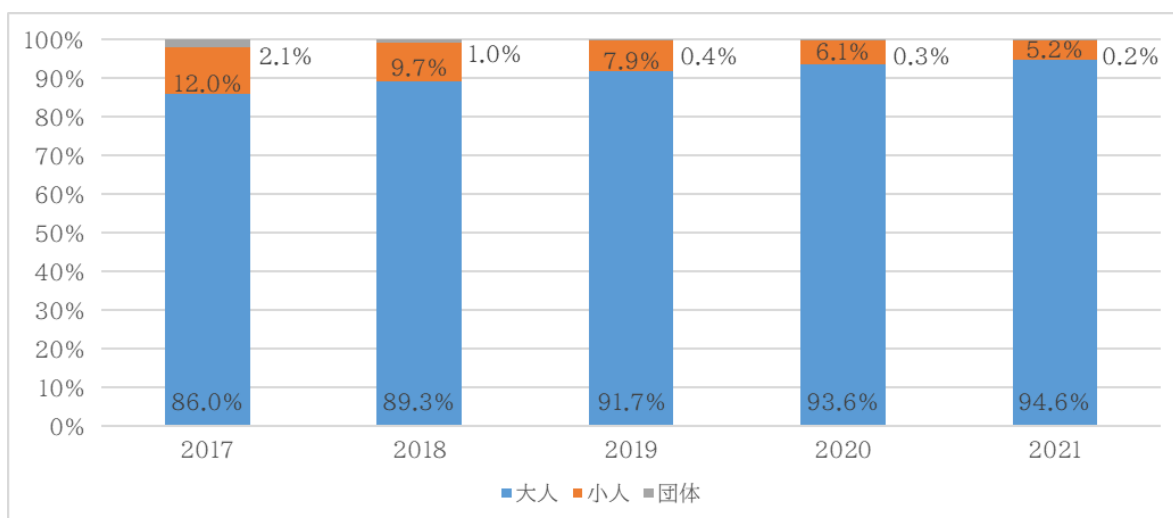


図表Ⅱ-42 笠置町キャンプ場の利用者数の推移

②属性別利用者の割合

利用者の内訳をみると、過去5年間で最も割合が多いのは「大人」で、「小人」「団体」が次いでいる。

「大人」の割合が増加しており、「小人」「団体」の割合は減少する傾向にあり、2021年（令和3年）においては、「大人」94.6%、「小人」5.2%、「団体」0.2%となっている。

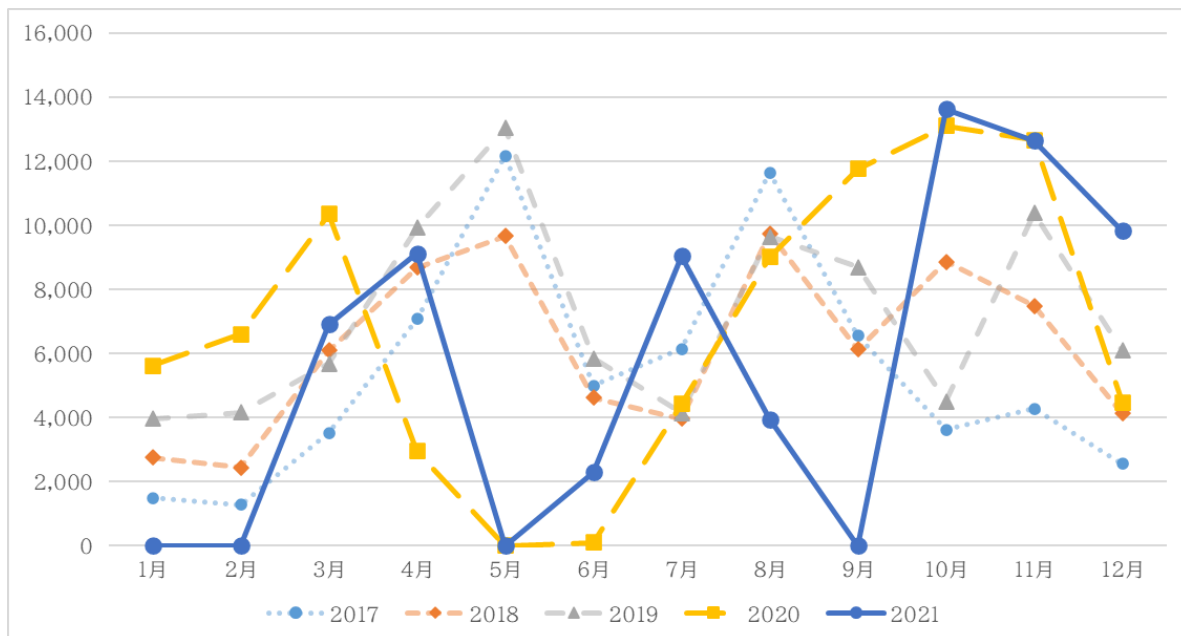


図表Ⅱ-43 笠置町キャンプ場の属性別利用者割合の推移

③月別利用者数の推移

月別に利用者数をみると、新型コロナウイルス発生前の2017～2019年は5月・8月・11月にピークがあった。

新型コロナウイルス発生後については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンプ場閉鎖している期間があり、大きく利用者数に変動している。また、キャンプ場が再開された後、利用者が急激に回復する傾向がある。



図表Ⅱ－４４ 笠置町キャンプ場の利用者数の推移（月別）

【参考】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
H29 (2017年)	大人	1,408	1,198	3,207	6,325	9,381	4,386	5,266	9,766	5,824	3,132	3,882	2,408	56,183
	小人	84	92	318	713	1,623	558	875	1,884	686	450	399	158	7,840
	団体	0	0	0	40	1,168	60	0	0	37	35	0	0	1,340
	計	1,492	1,290	3,525	7,078	12,172	5,004	6,141	11,650	6,547	3,617	4,281	2,566	65,363
H30 (2018年)	大人	2,575	2,325	5,534	7,628	8,373	4,125	3,505	8,469	5,542	7,646	6,933	3,905	66,560
	小人	173	112	558	1,055	1,089	420	467	1,283	590	746	548	224	7,265
	団体	0	0	0	0	200	73	0	0	0	463	0	0	736
	計	2,748	2,437	6,092	8,683	9,662	4,618	3,972	9,752	6,132	8,855	7,481	4,129	74,561
R1 (2019年)	大人	3,760	3,962	5,245	8,982	11,723	5,379	3,814	8,240	7,933	4,280	9,745	5,899	78,962
	小人	215	203	435	902	1,086	438	336	1,411	719	229	645	195	6,814
	団体	0	0	0	40	222	40	0	0	38	0	0	0	340
	計	3,975	4,165	5,680	9,924	13,031	5,857	4,150	9,651	8,690	4,509	10,390	6,094	86,116
R2 (2020年)	大人	5,319	6,352	9,391	2,643	0	101	4,165	8,003	10,832	12,544	12,116	4,354	75,820
	小人	305	252	954	309	0	1	261	946	735	562	536	113	4,974
	団体	0	0	0	0	0	0	0	60	191	0	0	0	251
	計	5,624	6,604	10,345	2,952	0	102	4,426	9,009	11,758	13,106	12,652	4,467	81,045
R3 (2021年)	大人	0	0	6,641	8,624	0	2,237	8,298	3,478	0	12,896	12,081	9,519	63,774
	小人	0	0	273	494	0	54	738	478	0	600	559	315	3,511
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130	0	0	130
	計	0	0	6,914	9,118	0	2,291	9,036	3,956	0	13,626	12,640	9,834	67,415

図表Ⅱ－４５ 笠置町キャンプ場の利用者数の推移（月別詳細）

※2019年（令和元年）：10/12～10/24まで台風19号の被害により閉鎖

※2020年（令和2年）：4/10～6/28、8/11～8/16、12/14～12/31については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンプ場閉鎖

※2021年（令和3年）：1/1～3/7、4/26～6/20、8/13～9/30については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キャンプ場閉鎖

第三章 調査結果を踏まえて

3-1. 調査結果のまとめ

今回の調査は、世界観光・訪日観光、国内観光、京都観光、笠置町（近郊）観光と、広い視点（マクロ）から地域の視点（ミクロ）へと順を追って調査・分析を行った。

（1）世界観光・訪日観光

新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年（令和元年）の日本の外国人旅行者受入数は、3,188万人で12位（アジアで3位）となっていたが、2020年（令和2年）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための渡航制限等により大きく影響を受け412万人となっており、大きく減少した。

（2）国内観光

2020年（令和2年）の日本人の国内宿泊旅行者数は延べ1億6,070万人（前年比48.4%減）、国内日帰り旅行者数は延べ1億3,271万人（前年比51.8%減）と、宿泊旅行、日帰り旅行ともに大きく減少した。これに伴って、旅行消費額も、11.0兆円（前年比60.6%減）となった。

（3）京都観光

2020年（令和2年）の京都市を除く府域の観光入込客数は約1,626万人となり、2019年（令和元年）の入込客数（約2,078万人）から前年比21.8%減と大幅に減少している。また、京都市を除く府域の観光消費額は約603億円となり、2019年（令和元年）の観光消費額（約909億円）から前年比33.6%減と大幅に減少している。

（4）笠置町（近郊）観光

笠置町における観光入込客数は、2019年（令和元年）の205,960人から2020年（令和2年）の156,465人となり、前年比24.0%減となっている。また、観光消費額は2019年（令和元年）の約6.5億円から2020年（令和2年）の約5.4億円となり、前年比16.3%減となっている。

観光入込客の構成比率を見ると、府内客は20.3%、府外客は79.7%となっており、府外客の割合が大きい。また、日帰客は92.3%、宿泊客は7.7%となっており、日帰客が極めて多い。なお、宿泊客のうち外国人については、前年比97.3%減と極めて落ち込んでいる。

観光入込客の属性をみると、男性が56.5%、女性が40.7%で若干男性が多い。年代については、幅広く分散している。旅行の目的は、観光、スポーツ・レクリエーションがほとんどである。そして、最も重視するポイントとしても「季節」と「観光地・訪問スポット」となっている。また、2～3人での観光が約75%を占め、1人は約23%である。

総合満足度評価では76.8%が好意的に評価しているが、「大変満足」と積極的に評価している人は8.7%程度となっている。

2-2. 今後に向けて

新型コロナウイルスの感染拡大により、かつて経験したことが無いような事態が地球規模で発生している。「観光」を取り巻く大きな社会の変化が起きており、この影響はまだまだ続くことが考えられ、仮に終息したとしても人々の生活習慣自体が変化してしまっており、新型コロナウイルス発生前の状況に完全に戻ることは考えにくい。

笠置町の今後の活性化を考えると、現在の状況を適切に把握した上で、地域が持つ独自の資源を、新しい時代に向けてどのように提示するかが重要になってくる。

今回は、公表されている各種統計資料をもとに、笠置町における観光入込客の動向調査を行った。特に今回は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けていることが反映されており、以前とは傾向が違う調査結果となっている。

観光入込客に関連する情報は多岐にわたるため収集が難しい情報や最新のデータの入手が困難な情報もあり、すべてを明らかにすることは難しいこともあるが、本調査により観光入込客の動向や傾向をある程度読み取ることが可能であるだろう。

そして、本調査により読み取れた動向や傾向を、笠置町の事業者が「どのように経営に活かすか」、商工会をはじめとした支援者が「どのように支援に活かすか」が重要になってくる。

各事業者においては、日々最前線で感じる感覚を大切にしつつ本調査のような客観的なデータも取り入れることで、自社の良さ・地域の良さを再発見し、既存サービス・商品の強化はもちろん、潜在ニーズの掘り起こしも行ってほしい。

商工会をはじめとした支援者においては、各事業者の活動の支援はもちろんのこと、各事業者をつなぎネットワーク化を図ることで、地域全体の活性化を目指していく必要がある。

以上を踏まえ、新型コロナウイルスにより厳しい状況にあるが、地域のかげがえのない自然や環境を大切に守りつつ、地域一丸となって地域の魅力を磨き、今後の活性化に繋げてほしい。

笠置町
観光入込客動向調査報告書

2022年（令和4年）7月 編集・発行



笠置町商工会

〒619-1303 京都府相楽郡笠置町笠置佃3-1

TEL : 0743-95-2159 / FAX : 0743-95-2960